

講義コード	U821000101	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)1		
副題	ドイツ語の仕組みを学ぶ		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-109		

授業概要

ドイツ語の文法システムに関する基礎知識を学び、ドイツ語による情報の受信・発信の能力の基本を養う事を目的とする。

到達目標

ドイツ語の文法構造について理解し、ドイツ語を利用するための基礎を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、つづりと母音の発音、挨拶の言葉
第2回	つづりと発音 --- 子音の発音 --- / 品詞分類 / Lektion 1 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (導入)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1) 文の作り方 --- 平叙文と疑問文 ---
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)[続]文の作り方 --- 疑問詞と疑問文 ---
第5回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2) 名詞の文法上の性と人称代名詞
第6回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2)[続] / 名詞の文法上の性と人称代名詞、定冠詞と不定冠詞
第7回	Lektion 2 数詞、名詞と冠詞類の格変化
第8回	Lektion 3 冠詞類と人称代名詞
第9回	Lektion 3 男性弱変化名詞、名詞の複数形、人称代名詞の格変化
第10回	Lektion 4 前置詞概説、名詞の格と前置詞の結び付き、3格と共に用いられる前置詞、4格と共に用いられる前置詞
第11回	Lektion 4 3格及び4格と共に用いられる前置詞、2格と共に用いられる前置詞
第12回	Lektion 4 前置詞と定冠詞語尾との融合形 他
第13回	Lektion 5 命令法と命令文(1) 弱変化動詞を使った命令文 / 弱変化動詞の人称変化 --- 命令法 他 ---
第14回	第1学期期末試験の返却及び解答と解説 / Lektion 5 命令法と命令文 (2) 強変化動詞を使った命令文
第15回	Lektion 5 動詞の人称変化 --- 命令法 他 --- / 文の作り方 --- 主文と従属文 --- / wissen と kennen
第16回	Lektion 6 話法の助動詞とそれを用いた文の作り方
第17回	Lektion 6 知覚・使役表現、再帰表現、非人称表現
第18回	Lektion 7 形容詞の使い方、比較表現
第19回	Lektion 7 日付、形容詞の名詞的用法
第20回	Lektion 8 前つづりの付いた動詞
第21回	Lektion 8 補足とまとめ (前つづり3種) / Lektion 9 完了形について
第22回	Lektion 9 完了形について(補足)、動詞の過去人称変化形と使い方
第23回	Lektion 9 動詞の人称変化形について(まとめ) / Lektion 10 zu 不定詞句
第24回	Lektion 11 指示代名詞と関係代名詞
第25回	Lektion 12 受動態と受動表現 (1) 受動文の作り方
第26回	Lektion 12 受動態と受動表現 (2) 受動文と話法の助動詞、受動文の完了形 他

授業計画コメント

授業の進度などによってスケジュールは前後することもある。

授業方法

講義(場合によっては Moodle か Mail で課題等の受け渡しを行うこともある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回きちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

CD で学ぶドイツ語入門 改訂版,三瓶 慎一,白水社,2006

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

講義コード	U821000102	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)2		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-105		

授業概要

ドイツ語を始めて学ぶ履修者のためのドイツ語文法の入門講座です。できるだけ多くの練習問題をこなしながら、ドイツ語を読んだり、表現したりする基礎を固めます。

到達目標

ドイツ文法の基礎を学ぶことで、辞書を使って平易なドイツ語の文章が読めるようにすることが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション:ドイツ語とは
第2回	ドイツ語のつづりと発音
第3回	第一課 人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第4回	第二課 名詞の性と格
第5回	第三課 動詞の現在人称変化(2)と命令法
第6回	第三課 練習問題
第7回	第四課 名詞の複数形
第8回	第四課 練習問題
第9回	第五課 前置詞の格支配
第10回	第五課 練習問題
第11回	第六課 形容詞の格変化
第12回	第七課 形容詞の比較
第13回	総括
第14回	第八課 動詞の三基本形と過去形
第15回	第八課 練習問題
第16回	第九課 現在完了形と未来形
第17回	第九課 練習問題
第18回	第十課 話法の助動詞
第19回	第十課 練習問題
第20回	第十一課 不定詞と分離動詞
第21回	第十二課 再帰代名詞と再帰動詞
第22回	第十三課 疑問代名詞と不定代名詞
第23回	第十四課 関係代名詞
第24回	第十五課 受動
第25回	第十六課 接続法
第26回	総括

授業方法

演習式で、履修者それぞれに練習問題を担当して進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習 予め練習問題の解答をノートに記しておくこと(60分)。
復習 授業で学習したことを元に、不明だった点をチェックすること(30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	

中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的参加態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストと学期末試験は返却して、解説します。

教科書

ドイツ文法スマート,横谷文孝・野島健児ほか,郁文堂,2011,978-261-01242-2

ドイツ語文法エクササイズ,横谷文孝・野島健児ほか,郁文堂,2011,978-261-02143-9

教科書コメント

文法解説書と練習帳の二冊組です。

講義コード	U821000103	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-204		

授業概要

練習問題をたくさん解きながら、ドイツ語文法の基礎をしっかりと学びます。

到達目標

「ドイツ語技能検定試験」3級に合格できるレベルを目指します。また、簡単な文章であれば、自分で書いたり、自力で読んだりできるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベットとあいさつ／発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	定冠詞と不定冠詞／名詞の複数形
第4回	冠詞類①(定冠詞類)／冠詞類②(不定冠詞類)
第5回	不規則動詞
第6回	第1学期前半のまとめ
第7回	命令形
第8回	人称代名詞
第9回	前置詞①
第10回	前置詞②
第11回	形容詞の格変化
第12回	zu不定詞
第13回	第1学期のまとめ
第14回	第1学期のおさらい／接続詞
第15回	話法の助動詞
第16回	前つづり付き動詞(分離動詞と非分離動詞)
第17回	再帰動詞
第18回	第2学期前半のまとめ
第19回	動詞の3基本形／動詞の過去人称変化
第20回	現在完了形
第21回	形容詞・副詞の比較変化
第22回	受動態
第23回	関係代名詞
第24回	接続法第1式
第25回	接続法第2式
第26回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

ときどき確認テストを行います。

授業方法

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業で学習した文法項目を確認するための宿題を出します。必ず取り組み、理解できていないところがあれば、次の授業で質問できるように準備をしてください。(1～2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の最後に行う学期末試験、小テスト、授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

確認テストについては授業内に返却・解説を行います。

教科書

ブローベ 大学生のためのドイツ語文法,橋本由紀子,白水社,4,2022,978-4-560-06435-1

教科書コメント

分かりやすい解説とシンプルな練習問題で、ドイツ語の基本文法を体系的かつ能動的に学ぶことのできる教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級～中級学習者向けの辞書です。

講義コード	U821000104	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 中央-506		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」
第4回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(1)
第5回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(2)、「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(1)
第6回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(2)
第7回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(1)
第8回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(2)
第9回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(1)
第10回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(2)
第11回	「第6課 形容詞の格変化」(1)
第12回	「第6課 形容詞の格変化」(2)
第13回	総括
第14回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第15回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)、「第8課 完了形・比較変化」(1)
第16回	「第8課 完了形・比較変化」(2)
第17回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(1)
第18回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(2)
第19回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(1)
第20回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(2)、「第11課 再帰動詞・分詞」(1)
第21回	「第11課 再帰動詞・分詞」(2)
第22回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(1)
第23回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(2)
第24回	「第13課 受動態」(1)
第25回	「第13課 受動態」(2)
第26回	総括

授業計画コメント

14・15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。

授業方法

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他、小テストや平常点も加味して評価するので、普段の学習を怠らないことが重要である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

新・文法システム15,西本美彦／西本アンゲリカ／高田博行,同学社,新,2015,9784810208818

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂
 フロイデ 独和辞典,白水社
 新アポロン 独和辞典,同学社
 アクセス 独和辞典,三修社
 プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくることは欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい)。

講義コード	U821000105	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)5		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1-201		

授業概要

1年間で、ドイツ語文法の基礎を習得します。ドイツ語は、英語と似たところが多い言葉ですが、一方で、英語とも日本語とも違ったさまざまな特徴をもっています。ドイツ語を知ること、英語や日本語をもまた違った目で見ることができるようになるでしょう。

到達目標

- ・ドイツ語技能検定(独検)4級合格程度の基礎ドイツ語力を身につけることをめざします。
- ・辞書を頼りに、簡単な文章ならば自力でドイツ語を読みとけるようになることをめざします。

授業内容

実施回	内容
第1回	発音
第2回	あいさつの表現
第3回	動詞の現在人称変化
第4回	出会いと自己紹介
第5回	名詞の性と格
第6回	家族について尋ねる
第7回	人称代名詞
第8回	明日の予定を尋ねる
第9回	定冠詞類・不定冠詞類
第10回	買い物に出かける
第11回	前置詞の格支配
第12回	週末の予定を尋ねる
第13回	理解度の確認
第14回	形容詞の格変化
第15回	趣味について尋ねる
第16回	話法の助動詞・分離動詞
第17回	駅の職員に質問する
第18回	zu不定詞・従属接続詞・再帰代名詞
第19回	休暇の計画を尋ねる
第20回	動詞の蚕基本形・過去形
第21回	旅の体験を語る(1)
第22回	現在完了形・受動態
第23回	旅の体験を語る(2)
第24回	関係代名詞・比較表現
第25回	日本について尋ねる
第26回	理解度の確認

授業方法

教科書の文法事項を説明した上で、受講者に予習してきた練習問題の解答を発表してもらい、解説を加えるという形で進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、教科書の指定箇所の予習(練習問題・読み物など)が必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	

中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書

パノラマ・エクスプレス 初級ドイツ語ゼミナール[三訂版], 上野成利・本田雅也, 白水社, 2022, 978-4-560-06436-8

講義コード	U821000106	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1-304		

授業概要

文法は、ドイツ語を理解し、運用するための基本となるものです。ドイツ語の文法は難しいと思われがちですが、基本をよく整理すれば、決して難しいものではなく、論理的で、学習しやすいものです。この授業では重要な項目ごとに小テストを行います。各項目をひとつひとつ理解し、反復して勉強することで、今後の学習に必要な文法知識をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

一年間で接続法を除く一通りの文法を学びます。 それによって様々な文章を読んだり話したりするための基礎を作ります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	0課 発音、1課 動詞の現在人称変化
第3回	1課 動詞の現在人称変化
第4回	2課 名詞の性と格
第5回	2課 名詞の性と格
第6回	3課 不規則動詞、命令形
第7回	3課 不規則動詞、命令形
第8回	4課 定冠詞類、不定冠詞類
第9回	4課 定冠詞類、不定冠詞類
第10回	5課 複数形、人称代名詞
第11回	6課 前置詞
第12回	6課 前置詞
第13回	理解度の確認
第14回	ガイダンス、前期の復習 7課形容詞の格変化
第15回	8課 助動詞
第16回	8課 助動詞
第17回	9課 分離動詞、接続詞
第18回	9課 分離動詞、接続詞
第19回	10課 zu不定詞、再帰代名詞
第20回	11課 動詞の3基本形、過去形
第21回	12課 現在完了形
第22回	12課 現在完了形
第23回	13課 受動態
第24回	14課 関係代名詞
第25回	14課 関係代名詞
第26回	理解度の確認

授業方法

文法を説明した後、受講者に練習問題を解いてもらいます。毎回授業の始めに前回の復習、宿題の答え合わせを行います。また、基本的な文法事項については、その都度小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

習っていない箇所を予習する必要はありませんが、復習や宿題は必要です(約1時間)。授業中に出される課題は、必ずやってくるようにしてください(期限内にMoodleに提出してください)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	

学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。平常点(クラス参加、課題の提出等):25% 第1学期(学期末試験):25% 第2学期(学年末試験):35% 小テスト:15%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト、学期末試験(第一学期)は授業内で返却し、解説を行います。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール,上野成利、本田雅也、白水社,9784560064207

講義コード	U821000107	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)7		
副題	ドイツ語の仕組みを学ぶ		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1-109		

授業概要

ドイツ語の文法システムに関する基礎知識を学び、ドイツ語による情報の受信・発信の能力の基本を養う事を目的とする。

到達目標

ドイツ語の文法構造について理解し、ドイツ語を利用するための基礎を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、つづりと母音の発音、挨拶の言葉
第2回	つづりと発音 --- 子音の発音 --- / 品詞分類 / Lektion 1 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (導入)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1) 文の作り方 --- 平叙文と疑問文 ---
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)[続]文の作り方 --- 疑問詞と疑問文 ---
第5回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2) 名詞の文法上の性と人称代名詞
第6回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2)[続] / 名詞の文法上の性と人称代名詞、定冠詞と不定冠詞
第7回	Lektion 2 数詞、名詞と冠詞類の格変化
第8回	Lektion 3 冠詞類と人称代名詞
第9回	Lektion 3 男性弱変化名詞、名詞の複数形、人称代名詞の格変化
第10回	Lektion 4 前置詞概説、名詞の格と前置詞の結び付き、3格と共に用いられる前置詞、4格と共に用いられる前置詞
第11回	Lektion 4 3格及び4格と共に用いられる前置詞、2格と共に用いられる前置詞
第12回	Lektion 4 前置詞と定冠詞語尾との融合形 他
第13回	Lektion 5 命令法と命令文(1) 弱変化動詞を使った命令文 / 弱変化動詞の人称変化 --- 命令法 他 ---
第14回	第1学期期末試験の解答と解説 / Lektion 5 命令法と命令文 (2) 強変化動詞を使った命令文
第15回	Lektion 5 動詞の人称変化 --- 命令法 他 --- / 文の作り方 --- 主文と従属文 --- / wissen と kennen
第16回	Lektion 6 話法の助動詞とそれを用いた文の作り方
第17回	Lektion 6 知覚・使役表現、再帰表現、非人称表現
第18回	Lektion 7 形容詞の使い方、比較表現
第19回	Lektion 7 日付、形容詞の名詞的用法
第20回	Lektion 8 前つづりの付いた動詞
第21回	Lektion 8 補足とまとめ (前つづり3種) / Lektion 9 完了形について
第22回	Lektion 9 完了形について(補足)、動詞の過去人称変化形と使い方
第23回	Lektion 9 動詞の人称変化形について(まとめ) / Lektion 10 zu 不定詞句
第24回	Lektion 11 指示代名詞と関係代名詞
第25回	Lektion 12 受動態と受動表現 (1) 受動文の作り方
第26回	Lektion 12 受動態と受動表現 (2) 受動文と話法の助動詞、受動文の完了形 他

授業計画コメント

授業の進度などによってスケジュールは前後することもある。

授業方法

講義(場合によっては Moodle か Mail で課題等の受け渡しを行うこともある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回きちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

CD で学ぶドイツ語入門 改訂版,三瓶 慎一,白水社,2006

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

講義コード	U821000108	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)8		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1-204		

授業概要

練習問題をたくさん解きながら、ドイツ語文法の基礎をしっかりと学びます。

到達目標

「ドイツ語技能検定試験」3級に合格できるレベルを目指します。また、簡単な文章であれば、自分で書いたり、自力で読んだりできるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベートとあいさつ／発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	定冠詞と不定冠詞／名詞の複数形
第4回	冠詞類①(定冠詞類)／冠詞類②(不定冠詞類)
第5回	不規則動詞
第6回	第1学期前半のまとめ
第7回	命令形
第8回	人称代名詞
第9回	前置詞①
第10回	前置詞②
第11回	形容詞の格変化
第12回	zu不定詞
第13回	第1学期のまとめ
第14回	第1学期のおさらい／接続詞
第15回	話法の助動詞
第16回	前つづり付き動詞(分離動詞と非分離動詞)
第17回	再帰動詞
第18回	第2学期前半のまとめ
第19回	動詞の3基本形／動詞の過去人称変化
第20回	現在完了形
第21回	形容詞・副詞の比較変化
第22回	受動態
第23回	関係代名詞
第24回	接続法第1式
第25回	接続法第2式
第26回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

ときどき確認テストを行います。

授業方法

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業で学習した文法項目を確認するための宿題を出します。必ず取り組み、理解できていないところがあれば、次の授業で質問できるように準備をしてください。(1～2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の最後に行う学期末試験、小テスト、授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

確認テストについては授業内に返却・解説を行います。

教科書

ブローベ 大学生のためのドイツ語文法,橋本由紀子,白水社,4,2022,978-4-560-06435-1

教科書コメント

分かりやすい解説とシンプルな練習問題で、ドイツ語の基本文法を体系的かつ能動的に学ぶことのできる教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級～中級学習者向けの辞書です。

講義コード	U821000109	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)9		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1-103		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	動詞の現在人称変化・定動詞の位置
第3回	定動詞の位置、名詞の性
第4回	名詞の複数形・格、冠詞
第5回	名詞の性・数・格に応じた冠詞の変化
第6回	不規則変化動詞の現在人称変化、前置詞の格支配
第7回	前置詞の格支配、男性弱変化名詞
第8回	定冠詞類、3・4格支配の前置詞、並列接続詞
第9回	不定冠詞類、分離動詞、非分離動詞、非人称es
第10回	人称代名詞の格変化
第11回	人称代名詞と前置詞の結合、命令形、話法の助動詞
第12回	助動詞構文、未来形
第13回	ここまでのまとめ
第14回	前期学習分の復習再帰代名詞
第15回	再帰動詞、副文
第16回	間接疑問文、形容詞の用法
第17回	形容詞の格変化
第18回	形容詞の名詞化、zu不定詞
第19回	過去形
第20回	過去形と完了形
第21回	完了形の用法
第22回	比較
第23回	受動文
第24回	関係代名詞
第25回	既習事項の確認
第26回	まとめ

授業計画コメント

第1学期は教科書1～7課、第2学期は8課～15課を学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変更します。

授業方法

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。予習内容は適宜指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	

学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	全5回ほど
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ドイツ語文法の基礎[改訂版],成田節 / 櫻井麻美,同学社,2018,978-4-8102-0891-7

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第4版,2021,978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典,濱川祥枝,信岡資生、新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。店頭で実際に中身を見て、文字やレイアウトが見やすいと感じるものを使うとよいでしょう。

講義コード	U821000110	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1-105		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認を行います。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の文字と発音
第2回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2)
第4回	名詞の性と格(1)
第5回	名詞の性と格(2)、複数形
第6回	定冠詞類
第7回	不定冠詞類(所有冠詞、否定冠詞)
第8回	人称代名詞の格変化、非人称の es
第9回	不規則動詞
第10回	命令形
第11回	前置詞(1)
第12回	前置詞(2)
第13回	まとめ
第14回	分離動詞
第15回	接続詞
第16回	話法の助動詞(1)
第17回	話法の助動詞(2)、未来形
第18回	動詞の3基本形、過去
第19回	現在完了形
第20回	受動文
第21回	形容詞の用法
第22回	比較表現
第23回	再帰代名詞
第24回	zu 不定詞
第25回	関係代名詞
第26回	まとめ

授業方法

講義ならびに演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、不明な事柄の有無を確認してください。
また、練習問題の解答を考えてみてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	

中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて返却します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[三訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2024,9784560064399

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向けとしては以下の辞書があります。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

講義コード	U821000111	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)11		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高田 博行		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西2-405		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ABCの発音から始まって、動詞の変化、冠詞の変化、名詞の変化、形容詞の変化、前置詞の用法、現在完了形、未来形、受動態、関係代名詞等へとステップアップし、文の作り方を学びます。

到達目標

これからドイツ語を4年間学習していくにあたって、基礎となる初級レベルの文法的知識を習得し、初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになることがこの授業の目的です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語のアルファベット、発音
第3回	動詞の現在人称変化 I
第4回	定冠詞と名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	定冠詞(類)
第7回	不定冠詞(類)
第8回	動詞の現在人称変化 II
第9回	第9回 命令形
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞の格支配
第12回	形容詞の格変化
第13回	動詞の三基本形
第14回	動詞の過去人称変化
第15回	動詞の現在完了形
第16回	形容詞の比較変化
第17回	話法の助動詞と未来形
第18回	従属接続詞と副文
第19回	分離動詞と非分離動詞(1)
第20回	分離動詞と非分離動詞(2)
第21回	zu 不定詞句
第22回	再帰動詞
第23回	分詞
第24回	関係代名詞
第25回	受動態
第26回	総括

授業計画コメント

わからないことがあったら、後回しにせずいつでも質問してください。

授業方法

実習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業内容について復習するとともに、次回の授業内容について教科書や補足プリントの該当箇所を予習すること(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

文法項目が理解できているか、基本的な語彙を習得しているかを確認します。授業中には、発音練習も行い、発音とイントネーションのチェックも行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの結果を踏まえて、次回の授業時に間違いやすい点などについて解説します。

教科書

新・文法システム15,西本美彦・高田博行・Angelika Nishimoto,同学社,2014,978-4-8102-0881-8

その他

この授業は文学部ドイツ語圏文化学科1年次を対象とする授業であり、他学科、他学部の学生向けではありません。

講義コード	U821000112	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)12		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	田丸 理砂		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 南1-106		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ABCの発音から始まって、動詞の変化、冠詞の変化、名詞の変化、形容詞の変化、前置詞の用法、現在完了形、未来形、受動態、関係代名詞等へとステップアップし、文の作り方を学びます。

到達目標

これからドイツ語を4年間学習していくにあたって、基礎となる初級レベルの文法的知識を習得し、初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになることがこの授業の目的です。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	導入(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)／ドイツ語のアルファベット、発音
第2回	動詞の現在人称変化 I
第3回	定冠詞と名詞
第4回	名詞の複数形
第5回	定冠詞類
第6回	不定冠詞(類)
第7回	動詞の現在人称変化 II
第8回	命令形
第9回	人称代名詞
第10回	前置詞
第11回	形容詞の格変化
第12回	動詞の三基本形／動詞の過去人称変化
第13回	到達度の確認
第14回	動詞の現在完了形
第15回	形容詞の比較変化
第16回	話法の助動詞と未来形
第17回	従属接続詞と副文
第18回	分離動詞と非分離動詞(1)
第19回	分離動詞と非分離動詞(2)
第20回	zu 不定詞句
第21回	再帰動詞
第22回	分詞
第23回	指示代名詞
第24回	関係代名詞
第25回	受動態
第26回	到達度の確認

授業計画コメント

わからないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方法

対面授業(実習)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業内容について復習するとともに、次回の授業内容について教科書やプリントの該当箇所を予習すること(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	

学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

文法項目が理解できているか、基本的な語彙を習得しているかを確認します。授業中には、発音練習も行い、発音とイントネーションのチェックも行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの結果を踏まえて、次回の授業の最初に間違いやすい点などについて解説します。

教科書

新・文法システム15, 西本義彦・高田博行・Angelika Nishimoto, 同学社, 2014, 978-4-8102-0881-8

講義コード	U821000113	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)13		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-107		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されたテキストを用いて、学んだ文法を授業内で実践できるようにしていきます。

到達目標

初歩的なドイツ語文法の習得を目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	自己紹介 文法導入
第3回	第1課 動詞の現在人称変化
第4回	第2課 名詞の性と冠詞
第5回	名詞の格 身のまわりのもの
第6回	第3課 動詞の現在人称変化 不規則変化動詞
第7回	命令系 時刻の表現
第8回	第4課 冠詞類
第9回	人称代名詞の3格・4格
第10回	否定の表現
第11回	第5課 前置詞の格支配
第12回	疑問代名詞 道を尋ねる
第13回	まとめとふりかえり
第14回	第6課 話法の助動詞
第15回	従属の接続詞
第16回	分離動詞・非分離動詞
第17回	コンサートに行く
第18回	第7課 形容詞の格変化
第19回	形容詞・副詞の比較
第20回	レストランで食事
第21回	第8課 動詞の3基本形
第22回	過去の表現 現在完了形
第23回	第9課 過去形
第24回	受動表現
第25回	第10課 zu不定詞 関係代名詞
第26回	まとめとふりかえり

授業計画コメント

授業の進捗具合により、順序は変更になる可能性があります。

授業方法

基本的な説明を行った後、練習問題、口頭での練習を行います。必要に応じて試験を行い、理解度の確認をしていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その週に習った基本事項の復習をするようにしてください。和訳、練習問題などの宿題が出された場合は、きちんと学習してください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		

学期末試験(第1学期)

学年末試験(第2学期)		
中間テスト	60 %	2回の試験
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的な参加度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内に質問を受け付け、フィードバックします。

教科書

ブーメラン・エルエー,小野 中川 西巻,朝日出版社,2023,978-4-255-25380-0

講義コード	U821000114	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-106		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎をひと通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイドダンス、アルファベット、発音
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)、並列の接続詞
第5回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第6回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第7回	Lektion 4 名詞の複数形
第8回	Lektion 4 人称代名詞
第9回	Lektion 5 不定冠詞類
第10回	Lektion 5 定冠詞類
第11回	Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)
第12回	Lektion 6 命令形
第13回	理解度の確認
第14回	Lektion 7 話法の助動詞、未来形
第15回	Lektion 8 前置詞
第16回	Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞
第17回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞
第18回	Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞
第19回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形
第20回	Lektion 10 現在完了形
第21回	Lektion 11 3基本形(II)
第22回	Lektion 11 受動態
第23回	Lektion 12 形容詞の変化
第24回	Lektion 12 比較
第25回	Lektion 12 関係代名詞
第26回	理解度の確認

授業方法

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認する(30分)。
 指示された箇所を暗記する(30分)。
 練習問題などの宿題に取り組む(30分)。
 例文などを読み発音に慣れる(20分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	

学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(出席、クラス参加など):15% 定期試験以外に小テスト・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,5,2022,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

講義コード	U821000115	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)15		
副題	初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	岡本 順治		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西2-203		

授業概要

一年間を通じて、ドイツ語の文法を学びます。文法とは、一連の規則の集合で、相互に結びついたものです。母語話者なら無意識のうちに習得できて使えるようになりますが、外国語の場合は同じように無意識に学ぶのは、さまざまな理由から困難です。そこで、文法を意識的に学ぶことが近道になります。規則と具体例を学ぶことで、最終的には無意識に正しい文が作れるようになることが最終目標です。

到達目標

ドイツ語の文が理解でき、ドイツ語で正しい文が作れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション(授業の進め方、一般的注意、ドイツ語の概略)
第2回	簡単な文を作る
第3回	一般動詞の現在人称変化
第4回	人称代名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	定冠詞と似たもの
第7回	不定冠詞と似たもの
第8回	前置詞(1)
第9回	前置詞(2)
第10回	形容詞の使い方(1)
第11回	形容詞の使い方(2)
第12回	形容詞の名詞化、命令法
第13回	接続詞(1)
第14回	接続詞(2)
第15回	現在時制と過去時制
第16回	現在完了形(1)
第17回	現在完了形(2)
第18回	分離動詞と非分離動詞(1)
第19回	分離動詞と非分離動詞(2)
第20回	助動詞
第21回	分詞
第22回	zu不定詞
第23回	形容詞と副詞の比較表現
第24回	再帰代名詞と再帰動詞
第25回	指示代名詞と関係代名詞
第26回	受動態

授業方法

- 解説は要点を押さえて短めにし、練習問題を解くところに時間をさきます。
- 2, 3人のグループで相談し、辞書を調べながら練習問題を解きます。
- 分からないことがあったら、その場で尋ねてください(後まわしにしないこと)。
- 知識は積み重ねることで大きく成長します。予習、復習を欠かさないように努力してください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の課の内容の概略をつかむ(20分)、学習した内容を復習する(40分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期(学期末試験):40%(文法項目の理解度、習得度)

第2学期(学年末試験):40%(文法項目の理解度、習得度)

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(積極的な授業への関与、出席)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

定期試験は、採点の後、返却し、問題の解説をして各自の理解度の確認を促します。

教科書

ドイツ語文法へのプロローグ,岡本順治,郁文堂,2007,9784261011975

その他

積極的に質問をする学生を歓迎します。

講義コード	U821000116	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)16		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 中央-503		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」
第4回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(1)
第5回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(2)、「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(1)
第6回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(2)
第7回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(1)
第8回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(2)
第9回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(1)
第10回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(2)
第11回	「第6課 形容詞の格変化」(1)
第12回	「第6課 形容詞の格変化」(2)
第13回	理解度の確認
第14回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第15回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)、「第8課 完了形・比較変化」(1)
第16回	「第8課 完了形・比較変化」(2)
第17回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(1)
第18回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(2)
第19回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(1)
第20回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(2)、「第11課 再帰動詞・分詞」(1)
第21回	「第11課 再帰動詞・分詞」(2)
第22回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(1)
第23回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(2)
第24回	「第13課 受動態」(1)
第25回	「第13課 受動態」(2)
第26回	理解度の確認

授業計画コメント

14・15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。

授業方法

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他、小テストや平常点も加味して評価するので、普段の学習を怠らないことが重要である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

新・文法システム15,西本美彦／西本アンゲリカ／高田博行,同学社,新,2015,9784810208818

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂
 フロイデ 独和辞典,白水社
 新アポロン 独和辞典,同学社
 アクセス 独和辞典,三修社
 プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくることは欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい)。

講義コード	U821000117	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)17		
副題	ドイツ語の仕組みを学ぶ		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1-109		

授業概要

ドイツ語の文法システムに関する基礎知識を学び、ドイツ語による情報の受信・発信の能力の基本を養う事を目的とする。

到達目標

ドイツ語の文法構造について理解し、ドイツ語を利用するための基礎を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、つづりと母音の発音、挨拶の言葉
第2回	つづりと発音 --- 子音の発音 --- / 品詞分類 / Lektion 1 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (導入)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1) 文の作り方 --- 平叙文と疑問文 ---
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)[続]文の作り方 --- 疑問詞と疑問文 ---
第5回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2) 名詞の文法上の性と人称代名詞
第6回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2)[続] / 名詞の文法上の性と人称代名詞、定冠詞と不定冠詞
第7回	Lektion 2 数詞、名詞と冠詞類の格変化
第8回	Lektion 3 冠詞類と人称代名詞
第9回	Lektion 3 男性弱変化名詞、名詞の複数形、人称代名詞の格変化
第10回	Lektion 4 前置詞概説、名詞の格と前置詞の結び付き、3格と共に用いられる前置詞、4格と共に用いられる前置詞
第11回	Lektion 4 3格及び4格と共に用いられる前置詞、2格と共に用いられる前置詞
第12回	Lektion 4 前置詞と定冠詞語尾との融合形 他
第13回	Lektion 5 命令法と命令文(1) 弱変化動詞を使った命令文 / 弱変化動詞の人称変化 --- 命令法 他 ---
第14回	第1学期期末試験の返却及び解答と解説 / Lektion 5 命令法と命令文 (2) 強変化動詞を使った命令文
第15回	Lektion 5 動詞の人称変化 --- 命令法 他 --- / 文の作り方 --- 主文と従属文 --- / wissen と kennen
第16回	Lektion 6 話法の助動詞とそれを用いた文の作り方
第17回	Lektion 6 知覚・使役表現、再帰表現、非人称表現
第18回	Lektion 7 形容詞の使い方、比較表現
第19回	Lektion 7 日付、形容詞の名詞的用法
第20回	Lektion 8 前つづりの付いた動詞
第21回	Lektion 8 補足とまとめ (前つづり3種) / Lektion 9 完了形について
第22回	Lektion 9 完了形について(補足)、動詞の過去人称変化形と使い方
第23回	Lektion 9 動詞の人称変化形について(まとめ) / Lektion 10 zu 不定詞句
第24回	Lektion 11 指示代名詞と関係代名詞
第25回	Lektion 12 受動態と受動表現 (1) 受動文の作り方
第26回	Lektion 12 受動態と受動表現 (2) 受動文と話法の助動詞、受動文の完了形 他

授業計画コメント

授業の進度などによってスケジュールは前後することもある。

授業方法

講義(場合によっては Moodle か Mail で課題等の受け渡しを行うこともある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回きちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

CD で学ぶドイツ語入門 改訂版,三瓶 慎一,白水社,2006

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

講義コード	U821000118	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-304		

授業概要

文法は、ドイツ語を理解し、運用するための基本となるものです。ドイツ語の文法は難しいと思われがちですが、基本をよく整理すれば、決して難しいものではなく、論理的で、学習しやすいものです。この授業では重要な項目ごとに小テストを行います。各項目をひとつひとつ理解し、反復して勉強することで、今後の学習に必要な文法知識をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

一年間で接続法を除く一通りの文法を学びます。 それによって様々な文章を読んだり話したりするための基礎を作ります。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	1課 発音、2課 動詞の現在人称変化
第3回	2課 動詞の現在人称変化
第4回	3課 名詞の性と格
第5回	3課 名詞の性と格
第6回	4課 定冠詞類と不定冠詞類
第7回	4課 定冠詞類と不定冠詞類
第8回	5課 人称代名詞
第9回	6課不規則動詞、命令形
第10回	6課 不規則動詞、命令形
第11回	7課 前置詞
第12回	7課 前置詞
第13回	理解度の確認
第14回	ガイダンス、前期の復習
第15回	9課 助動詞
第16回	9課 助動詞
第17回	8課 分離動詞、接続詞
第18回	8課 分離動詞、接続詞
第19回	10課 動詞の3基本形、過去形
第20回	11課 現在完了形、受動態
第21回	11課 現在完了形、受動態
第22回	12課 形容詞
第23回	13課 再帰代名詞、zu不定詞
第24回	14課 関係代名詞
第25回	14課 関係代名詞
第26回	理解度の確認

授業方法

文法を説明した後、受講者に練習問題を解いてもらいます。毎回授業の始めに前回の復習、宿題の答え合わせを行います。また、基本的な文法事項については、その都度小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

習っていない箇所を予習する必要はありませんが、復習や宿題は必要です(約1時間)。授業中に出される課題は、必ずやってくるようにしてください(期限内にMoodleに提出してください)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	

学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。平常点(クラス参加、課題の提出等):25% 第1学期(学期末試験):25% 第2学期(学年末試験):35% 小テスト:15%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト、学期末試験(第一学期)は授業内で返却し、解説を行います。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法, 荻原耕平, 白水社, 9784560064160

講義コード	U821000119	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-201		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	規則変化動詞
第3回	動詞の位置・seinとhaben
第4回	名詞の性・数・格
第5回	冠詞の変化
第6回	不規則変化動詞
第7回	命令形・冠詞類
第8回	定冠詞類・不定冠詞類
第9回	指示代名詞・疑問代名詞
第10回	人称代名詞・前置詞
第11回	前置詞の格支配
第12回	話法の助動詞・未来形
第13回	前期既習事項のまとめ
第14回	副文
第15回	分離動詞
第16回	再帰動詞
第17回	非人称es・形容詞
第18回	形容詞の名詞化
第19回	過去形
第20回	完了形
第21回	関係代名詞
第22回	比較
第23回	zu不定詞
第24回	受動文
第25回	各構文の語順
第26回	後期既習事項のまとめ

授業計画コメント

第1学期は7課まで、第2学期は14課までを学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変更します。

授業方法

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。予習に関しては適宜範囲を指定します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	

学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	全5回ほど
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

わかるぞドイツ語！みえるぞドイツ！WEB改訂版,春日正男、松澤淳,朝日出版社,2022,978-4-255-25451-7 C1084

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,4,2010,978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典,濱川祥枝、信岡資生、新田春夫,三省堂,5,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。店頭で実物を見比べて見やすいと感じたものを使いましょう。

講義コード	U821000120	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)20		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-106		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎をひと通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイドダンス、アルファベット、発音
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)、並列の接続詞
第5回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第6回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第7回	Lektion 4 名詞の複数形
第8回	Lektion 4 人称代名詞
第9回	Lektion 5 不定冠詞類
第10回	Lektion 5 定冠詞類
第11回	Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)
第12回	Lektion 6 命令形
第13回	理解度の確認
第14回	Lektion 7 話法の助動詞、未来形
第15回	Lektion 8 前置詞
第16回	Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞
第17回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞
第18回	Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞
第19回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形
第20回	Lektion 10 現在完了形
第21回	Lektion 11 3基本形(II)
第22回	Lektion 11 受動態
第23回	Lektion 12 形容詞の変化
第24回	Lektion 12 比較
第25回	Lektion 12 関係代名詞
第26回	理解度の確認

授業方法

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認する(30分)。
 指示された箇所を暗記する(30分)。
 練習問題などの宿題に取り組む(30分)。
 例文などを読み発音に慣れる(20分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	

学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(出席、クラス参加など):15% 定期試験以外に小テスト・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,5,2022,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

講義コード	U821000121	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)21		
副題	ドイツ語は文法がわかると面白くなる!		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-206		

授業概要

ドイツ語の初級文法を学習します。文法および形態を理解する上で、発音は非常に重要です。

到達目標

ドイツ語検定4級に合格できる程度のドイツ語能力を見につけることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション(Moodleを使用することについて、辞書&教科書の説明、音声、授業形態)、発音練習、履修者確定
第2回	注意を要する母音と子音(特に、綴りと発音の関係性について)
第3回	動詞の現在人称変化。英語では3単現の-sだけでしたが、ドイツ語ではさらに1人称、2人称、複数形の主語も動詞の形(ドイツ語は語尾)と対応します。これがヨーロッパ言語のデフォルトです。
第4回	sein(英語のbe動詞)とhaben(英語のhave)動詞。とつても大事な動詞二つ
第5回	主語と対応した形の動詞を定動詞(ていどうし)と言います。その文中での位置把握がドイツ語の文構造を理解する上でのキモです。
第6回	ドイツ語の名詞には性・数(すい)・格の3つがついてきます。名詞に性があるのはドイツ語だけでなくヨーロッパ言語のデフォルトです。まず性と格を勉強します。
第7回	名詞の数(すう)、つまり複数形。英語でも複数形が不規則な名詞がありましたね。辞書を必ず持参して下さい。
第8回	英語のa / anに相当する不定冠詞。格によって形が異なります。それから、英語のmy / your / his / herなどにあたる所有冠詞。
第9回	語や文を否定するときに使うkein / nichtについて。
第10回	99数字の言い方。英語と似ています。21から99までが規則的にちよつと変わってます。
第11回	日常的によく使う動詞ほど、不規則な変化をします。英語と同じです。それから人称代名詞の形について。英語でもwith him / her / us のように、he / she / weの形が変わりました。それと同じです。
第12回	命令形。英語と同じような考え方で作ります。ただ、相手が誰か(家族や友だちなのか、それとも面識ない人だったりするのか)によってちよつと変えます。
第13回	英語のget outのように、動詞にニュアンスを与える副詞みたいな相棒と一緒に使われる動詞がドイツ語にもあります。相棒の文中の位置が英語とちよつと異なります。
第14回	英語よりもドイツ語の前置詞の数は多いです。まずはよく使われる前置詞の意味から勉強します。
第15回	前置詞は名詞の前に置かれます。ということは、ドイツ語なので、名詞の「格」が問題となります。それについて確認します。
第16回	動詞の3基本形。まず基本的なパターンの学習、次に不規則パターン。英語でもドイツ語でも、日常的によく使う動詞ほど不規則変化します。ただ不規則変化する動詞は有限で、減ることはあっても増えることはありません。
第17回	現在完了形。初級文法の山です。これで過去のことを言うことができます。過去形でなく現在完了形を使うのがドイツ語では普通です。
第18回	形容詞の用法。ドイツ語には形容詞をそのままの形で副詞としても使えるので便利です。名詞の左に形容詞を置くときの注意事項の確認。
第19回	形容詞から名詞を作るやり方と意味などについて。
第20回	形容詞の比較級と最上級。英語と似ている所とちよつと異なることがあります。
第21回	英語のcan/must/mayなどにあたる助動詞。ドイツ語の助動詞には過去形があります。英語の助動詞、例えばmustに過去形はありますか?
第22回	語と語、文と文を並べる時に使う接続詞。
第23回	再帰表限。何か動作を行った人とその動作を受ける人が同一人物の場合に使う動詞と代名詞の勉強。
第24回	zu不定詞(英語のto不定詞)の勉強。要素の並べ方だけ英語と異なります。
第25回	関係代名詞。先行詞と関係代名詞の関係がクリアに分かるのがドイツ語の特徴です。
第26回	受動態。受け身表現はドイツ語ではとてもよく使われます。動作受動と状態受動の違いについても触れます。

授業計画コメント

月に1回程度の割合で授業中に小テストを行う予定です。また、毎回宿題を出します。

授業方法

授業の最初は宿題チェックと質問受付(解答は黒板に書くのではなく、口頭で答えていただきます。スペルと音の関係もチェックしましょう)、次にその日の文法事項の説明、練習問題。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、教科書からあるいはプリントを配布して宿題をだします。全員がやってきていることが前提です。宿題をすることで確認と同時に疑問点も出てくると思います。その疑問点を次回授業で質問して下さい。予習は不要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	50 %	月に1回の授業中に実施予定の小テスト
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	毎授業後に課す宿題をやっている、質問をする
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

出席(遅刻しないように)、宿題をやっていること、積極的な発言と質問、小テストの結果を参考に総合的に成績評価をします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストでミスが多かった事項については、解答用紙返却後に授業中に説明します。毎回、宿題を出すので、そのチェックの際に、また文法事項説明中でも質問があればいつでもどうぞ。

教科書

改訂版・ドイツ文法ガイドA-Z,保阪良子,同学社,改訂版7,2021,9784810208689

教科書コメント

教科書は必ず新規購入してください。

その他

Moodleの「アナウンスメント」機能を利用して下さい。こちらから皆さんに連絡事項がある場合もアナウンスメントで全員に一斉送信します。Moodleからのメールを確実に受信するためにも、皆さんが日頃よく使っているメールアドレスをMoodleに登録しておいて下さい。

講義コード	U821001101	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1-105		

授業概要

ドイツ語圏の、古今さまざまな作家の書簡や小説や詩作品を精読することで、美しい品格あるドイツ語の文章に触れていきます。

到達目標

基本文法をひととおり学んだ学習者が、文法事項を復習しながらドイツ語の文章を読むことによって、読解力や語彙力が身につくことを目的とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション:ドイツとドイツ語
第2回	第0課 ドイツ人の思想
第3回	第一課 モーツァルトの手紙
第4回	第一課 リルケの手紙
第5回	第二課 グリム兄弟『蛙の王様』
第6回	第二課 接続法一式
第7回	第三課 ヨハンナ・シュピリ『アルプスの少女 ハイジ』
第8回	第三課 命令法
第9回	第四課 ライナー・マリア・リルケ『秋の日』
第10回	第四課 不定関係代名詞
第11回	第五課 ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ『若きウェテルの悩み』
第12回	第五課 定関係代名詞
第13回	総括
第14回	第六課 ことわざと名言とアフォリズム
第15回	第七課 オトフリート・プロイスラー『クラバート』
第16回	第七課 接続法二式
第17回	第八課 フランツ・カフカ『変身』
第18回	第八課 従属の接続詞
第19回	第九課 パウル・ツェラン『死のフーガ』
第20回	第九課 ドイツ語の詩
第21回	第十課 リヒャルト・フォン・ヴァイゼッカー『1985年5月8日の演説』
第22回	第十課 再帰動詞
第23回	第十一課 ベルンハルト・シュリンク『朗読者』
第24回	第十一課 不定関係代名詞was
第25回	第十二課 トーマス・マン『ヴェニスに死す』
第26回	総括

授業方法

演習方式で、履修者それぞれにテキストを音読してもらい、日本語訳を付けてもらいます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習:授業前に教科書の該当箇所を読んで、ノートに日本語に訳しておくこと(1時間)。

復習:予習で不明だった点を確認し、ノートに加筆・訂正を行うこと(30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	

中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業中の積極的態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期の試験、小テストは返却して、解説します。

教科書

ドイツ語を読む, Susanne Schermann・相原剣, 朝日出版社, 改訂, 2019, 978-4-255-25417-3

講義コード	U821001102	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 5時限 西1-109		

授業概要

初級文法を習得した学生を対象とする。初級で学習したことをベースにして、ドイツ語の Text を精密に読み、内容について理解する力と、それを足がかりとした総合的な力を養成することを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を文法に基づき精密に読み解きながら内容について正確に理解し、自分の言葉で説明できるようにする。さらに Text で使われている語句や文法事項を利用して、さらに情報を受信・発信する力にも結び付けられるようにもする。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|----------------------------------|
| 第1回 | ガイダンスと導入、Lektion 1:「モーツァルトの手紙」読解 |
| 第2回 | Lektion 1「リルケの手紙」読解、文法項目確認 |
| 第3回 | Lektion 1 手紙の書式について、練習問題 |
| 第4回 | Lektion 1 課題の答え合わせと解説 |
| 第5回 | Lektion 2「カエルの王様」読解 |
| 第6回 | Lektion 2 文法項目確認、練習問題 |
| 第7回 | Lektion 2 課題の答え合わせと解説 |
| 第8回 | Lektion 3「アルプスの少女ハイジ」読解 |
| 第9回 | Lektion 3 文法項目確認、練習問題 |
| 第10回 | Lektion 3 課題の答え合わせと解説 |
| 第11回 | Lektion 5「若きヴェルターの悩み」読解 |
| 第12回 | Lektion 5 文法項目確認、練習問題 |
| 第13回 | Lektion 5 課題の答え合わせと解説 |
| 第14回 | 第1学期期末試験の返却及び解答と解説 |
| 第15回 | Lektion 7「クラバート」読解 |
| 第16回 | Lektion 7 文法項目確認、練習問題 |
| 第17回 | Lektion 7 課題の答え合わせと解説 |
| 第18回 | Lektion 8「変身」読解 |
| 第19回 | Lektion 8 文法項目確認、練習問題 |
| 第20回 | Lektion 8 課題の答え合わせと解説 |
| 第21回 | Lektion 10「1985年5月8日の演説」読解 |
| 第22回 | Lektion 10 文法項目確認、練習問題 |
| 第23回 | Lektion 10 課題の答え合わせと解説 |
| 第24回 | Lektion 11「朗読者」読解 |
| 第25回 | Lektion 11 文法項目確認、練習問題 |
| 第26回 | Lektion 11 課題の答え合わせと解説 |

授業計画コメント

教科書の中から抜粋して Text の読解、練習を行い、必要となる文法事項の学習をするが、場合によっては、順番や内容を途中で変更したり、別途新たな Text へ変更したりすることもある。

授業方法

講義・演習(場合によっては Moodle か Mail を用いて課題や補助教材の受け渡しを行う)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

あらかじめ Text を読み、分からない語句・文構造などは辞書・文法書等で調べておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次の時間に答え合わせをする
テストは返却後授業で解説

教科書

ドイツ語を読む 改訂版,Susanne Schermann/相原 剣,朝日出版社,2019

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

辞書は必ず持参のこと。できれば文法書やベーシックで使用した教科書も持参するとよい。

講義コード	U821001103	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-109		

授業概要

初級文法を習得した学生を対象とする。初級で学習したことをベースにして、ドイツ語の Text を精密に読み、内容について理解する力と、それを足がかりとした総合的な力を養成することを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を文法に基づき精密に読み解きながら内容について正確に理解し、自分の言葉で説明できるようにする。さらに Text で使われている語句や文法事項を利用して、さらに情報を受信・発信する力にも結び付けられるようにもする。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンスと導入、Lektion 1:「モーツァルトの手紙」読解
第2回	Lektion 1「リルケの手紙」読解、文法項目確認
第3回	Lektion 1 手紙の書式について、練習問題
第4回	Lektion 1 課題の答え合わせと解説
第5回	Lektion 2「カエルの王様」読解
第6回	Lektion 2 文法項目確認、練習問題
第7回	Lektion 2 課題の答え合わせと解説
第8回	Lektion 3「アルプスの少女ハイジ」読解
第9回	Lektion 3 文法項目確認、練習問題
第10回	Lektion 3 課題の答え合わせと解説
第11回	Lektion 5「若きヴェルターの悩み」読解
第12回	Lektion 5 文法項目確認、練習問題
第13回	Lektion 5 課題の答え合わせと解説
第14回	第1学期期末試験の返却及び解答と解説
第15回	Lektion 7「クラバート」読解
第16回	Lektion 7 文法項目確認、練習問題
第17回	Lektion 7 課題の答え合わせと解説
第18回	Lektion 8「変身」読解
第19回	Lektion 8 文法項目確認、練習問題
第20回	Lektion 8 課題の答え合わせと解説
第21回	Lektion 10「1985年5月8日の演説」読解
第22回	Lektion 10 文法項目確認、練習問題
第23回	Lektion 10 課題の答え合わせと解説
第24回	Lektion 11「朗読者」読解
第25回	Lektion 11 文法項目確認、練習問題
第26回	Lektion 11 課題の答え合わせと解説

授業計画コメント

教科書の中から抜粋して Text の読解、練習を行い、必要となる文法事項の学習をするが、場合によっては、順番や内容を途中で変更したり、別途新たな Text へ変更したりすることもある。

授業方法

講義・演習(場合によっては Moodle か Mail を用いて課題や補助教材の受け渡しを行う)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

あらかじめ Text を読み、分からない語句・文構造などは辞書・文法書等で調べておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次の時間に答え合わせをする
テストは返却後授業で解説

教科書

ドイツ語を読む 改訂版,Susanne Schermann/相原 剣,朝日出版社,2019

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

辞書は必ず持参のこと。できれば文法書やベーシックで使用した教科書も持参するとよい。

講義コード	U821001104	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1-107		

授業概要

各課2回のペースで読み進めます。本文を発音練習し、文法の知識を応用して日本語に訳します。

到達目標

ドイツ人の日常生活を知り、同時にドイツ語のテキストを読みこなせる語学力をつけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス・Kapitel 1 Geburt (1)
第2回	Kapitel1 Geburt (2)
第3回	Kapitel 2 Schule (1)
第4回	Kapitel2 Schule (2)
第5回	Kapitel3 Jugendliche in der Gesellschaft (1)
第6回	Kapitel3 Jugendliche in der Gesellschaft (2)
第7回	Kapitel4 Jugend und Freizeit (1)
第8回	Kapitel4 Jugend und Freizeit (2)
第9回	Kapitel5 Feiertage und Ferien (1)
第10回	Kapitel5 Feiertage und Ferien (2)
第11回	Kapitel6 Schulabschluss und Berufsausbildung (1)
第12回	Kapitel6 Schulabschluss und Berufsausbildung (2)
第13回	第1学期のまとめ
第14回	Kapitel 7 Beruf (1)
第15回	Kapitel 7 Beruf (2)
第16回	Kapitel 8 Studieren in Deutschland (1)
第17回	Kapitel 8 Studieren in Deutschland (2)
第18回	Kapitel 9 Wie junge Leute wohnen (1)
第19回	Kapitel 9 Wie junge Leute wohnen (2)
第20回	Kapitel 10 Heirat 10 (1)
第21回	Kapitel 10 Heirat 10 (2)
第22回	Kapitel 11 Familie (1)
第23回	Kapitel 11 Familie (2)
第24回	Kapitel 12 Haushalt (1)
第25回	Kapitel 12 Haushalt (2)
第26回	第2学期のまとめ

授業方法

長文をドイツ人と同じスピードで音読する訓練をします。次に日本語に訳していただきます。折に触れドイツ事情を解説します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

必ず事前に読み、解らないところをチェックして、授業で質問して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		

中間テスト

レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1・第2学期の筆記試験の結果と平常点を合わせ、60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受ける資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

筆記試験は答え合わせと解説をして、正しかったか、どこが間違っていたのかを確認します。

教科書

ドイツ人の一生,ラープ・石井,朝日出版社,改訂,2015,978-4-255-25233-9

講義コード	U821001105	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)5		
副題	ミュージカル『エリザベート』を読む		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-304		

授業概要

ドイツ語初級を学習した学生を対象としたクラスです。文法を復習しながら、まとまった文章を正確に読む力、ドイツ語の文章を書く力を養います。

『エリザベート』は、ハプスブルク帝国が崩壊しつつある時に皇帝妃となったエリザベートの半生を描いたウィーンミュージカルの代表作です。歌詞は会話体が多く、耳で聞いてすぐ解るように比較的簡単なドイツ語で書かれています。授業では『エリザベート』だけでなく、同じ作家、作曲家によって作られた『モーツァルト』も取り上げる予定です。

初級で学習した文法(分離動詞、助動詞、関係代名詞、受動態等)の復習にも時間をかけますので、中級で新しく学ぶ文法(接続法等)と合わせてドイツ語読解の基礎をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

文法の基礎を固め、まとまったドイツ語の文章を読む力をつけること。様々な文化や思想が生まれた19世紀ウィーンに関する知識を深めること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、DVD(エリザベートの生涯、ミュージカル『エリザベート』第1幕)鑑賞
第2回	テキスト読解、文法の説明、練習(1)。DVD(『エリザベート』第1幕)鑑賞
第3回	テキスト読解、文法の説明、練習(2)
第4回	テキスト読解、文法の説明、練習(3)
第5回	テキスト読解、文法の説明、練習(4)
第6回	テキスト読解、文法の説明、練習(5)
第7回	テキスト読解、文法の説明、練習(6)
第8回	テキスト読解、文法の説明、練習(7)
第9回	テキスト読解、文法の説明、練習(8)
第10回	テキスト読解、文法の説明、練習(9)
第11回	テキスト読解、文法の説明、練習(10)
第12回	テキスト読解、文法の説明、練習(11)
第13回	理解度の確認
第14回	ガイダンス、前期の復習、DVD(『エリザベート』第2幕)鑑賞
第15回	テキスト読解、文法の説明、練習(12)。DVD(『エリザベート』第2幕)鑑賞
第16回	テキスト読解、文法の説明、練習(13)
第17回	テキスト読解、文法の説明、練習(14)
第18回	テキスト読解、文法の説明、練習(15)
第19回	テキスト読解、文法の説明、練習(16)
第20回	テキスト読解、文法の説明、練習(17)
第21回	テキスト読解、文法の説明、練習(18)
第22回	テキスト読解、文法の説明、練習(19)
第23回	テキスト読解、文法の説明、練習(20)
第24回	テキスト読解、文法の説明、練習(21)
第25回	テキスト読解、文法の説明、練習(22)
第26回	理解度の確認

授業計画コメント

『エリザベート』を見たことのない受講生にも全体の流れが理解しやすいように、前期は初めの2回で第一幕を、後期は第二幕をDVD(ドイツ語、日本語訳付き)で鑑賞します。

前期は『エリザベート』第一幕の歌詞を読んではじめますが、文法の学習進度に合わせて、テキストに注を付けます。後期は『エリザベート』第二幕の他、『モーツァルト』を読む予定です(他のウィーンミュージカル、文化や歴史に関するテキストも希望があれば検討します)。どのテキストを読むかについては、受講生の希望を取り入れたいと思います。

19世紀後半から20世紀初頭にかけてのウィーンは、様々な思想、文化、芸術が生まれた非常に興味深い都市です。それらについても随時取り上げていきたいと思っています。

授業方法

授業の前半では文法の説明、練習問題、作文を行います。後半では、受講生に課題テキストを和訳してもらい、解説を加えます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う部分を指示しますので、単語を調べるだけでなく、きちんと文法や意味を考えて和訳、作文をしてきてください。(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	45 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他に、平常点(授業に臨む姿勢、課題等)を評価の対象にします。積極的に授業に参加してください。全授業の三分の一以上を欠席した場合、成績評価の対象になりません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験(第1学期)は授業内で返却し、解説します。

教科書コメント

プリントを配布します。

講義コード	U821001106	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)6		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 中央-506		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科2年次指定クラスで、メルヒェン、小説、新聞・雑誌記事等、様々な文章の読解を通じて、1年次に学んだドイツ語の基礎をより確実にすると同時に、種々のドイツ語文章に対応する読解力を養成する。文法事項を踏まえ、文章を正確に読むことを目指す。

到達目標

様々なドイツ語の文章を、文法を踏まえ、前後関係を把握し、相当程度正確に読むことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス。1年次の復習(接続法1)
第2回	1年次の復習(接続法2)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第13回	総括
第14回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第15回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第26回	総括

授業計画コメント

授業方法

受講者各自にドイツ語を読んで訳してもらい、教員がそれぞれの誤りを訂正し、また、重要な文法事項や内容等に解説を加えながら授業を進める。担当者以外の受講者に意見を求めることもあるので、積極的に授業に参加することが求められる。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化に対する理解を深めるための写真等も見る予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験は授業で学習した内容に基づいて出題されるので、予習・復習・授業への参加度が重要になる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

講義コード	U821001107	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)7		
副題	ドイツ映画『グッバイ、レーニン!』を読もう!		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	小林 和貴子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西2-406		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。
実践的なドイツ語読解を通して、読むことの楽しさを実感しつつ、語彙や表現を増やし、1年次にならった文法を定着させていきます。

到達目標

- ・辞書があれば文意が迎れるようになる。
- ・少くとも意味の分からない単語があっても、テキスト全体の文意をつかめるようにする。
- ・テキストによく出てくる単語や表現を覚える。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入
第2回	テキスト読解①
第3回	テキスト読解②
第4回	テキスト読解③
第5回	テキスト読解④
第6回	テキスト読解⑤
第7回	理解度の確認1
第8回	テキスト読解⑥
第9回	テキスト読解⑦
第10回	テキスト読解⑧
第11回	テキスト読解⑨
第12回	テキスト読解⑩
第13回	理解度の確認2
第14回	テキスト読解⑪
第15回	テキスト読解⑫
第16回	テキスト読解⑬
第17回	テキスト読解⑭
第18回	テキスト読解⑮
第19回	テキスト読解⑯
第20回	理解度の確認3
第21回	テキスト読解⑰
第22回	テキスト読解⑱
第23回	テキスト読解⑲
第24回	テキスト読解⑳
第25回	テキスト読解㉑
第26回	理解度の確認4

授業方法

グループワークが主体です。訳の確認は各グループで行います。毎回、単語リストを作成します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で扱うテキストを事前に読み、日本語訳をノートにまとめる。事前の準備をきちんと行っているか、毎回その場でノートを確認します。(60分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	事前準備、単語リストの作成
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

事前の準備をしっかり行っているか、単語リストを丁寧に作成しているか、等も評価の対象にします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストは毎回、返却します。

教科書コメント

適宜、授業時に配布します。

その他

辞書と1年次に使った文法教科書を毎回、持ってきてください。

講義コード	U821001108	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)8		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-209		

授業概要

ドイツ語で書かれたテキストを読解を行います。
並行して、初級ドイツ語の授業で習得した事項の復習、確認をします。

なお、この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。

到達目標

ドイツ語の文章を読解する際のポイントを、履修者が把握できるようになることが目標です。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス テキスト1読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第2回	テキスト1読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第3回	テキスト1読解(続き)、文章全体の構成の確認
第4回	テキスト2読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第5回	テキスト2読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第6回	テキスト2読解(続き)、文章全体の構成の確認
第7回	テキスト3読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第8回	テキスト3読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第9回	テキスト3読解(続き)、文章全体の構成の確認
第10回	テキスト4読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第11回	テキスト4読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第12回	テキスト4読解(続き)、文章全体の構成の確認
第13回	まとめ
第14回	テキスト5読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第15回	テキスト5読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第16回	テキスト5読解(続き)、文章全体の構成の確認
第17回	テキスト6読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第18回	テキスト6読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第19回	テキスト6読解(続き)、文章全体の構成の確認
第20回	テキスト7読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第21回	テキスト7読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第22回	テキスト7読解(続き)、文章全体の構成の確認
第23回	テキスト8読解、関連する文法事項の確認、解説
第24回	テキスト8読解(続き)、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第25回	テキスト8読解(続き)、文章全体の構成の確認
第26回	まとめ

授業方法

演習ならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前にテキストに目を通し、日本語に訳せるように単語の意味を調べておいてください
また、意味等不明な箇所があればあげておいてください。(1時間～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	

学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	25 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点については、授業中の発表内容が特にポイントとなります。
また進度を勘案したうえで、中間テストを行い、理解度をチェックする予定です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答えは返却し、履修者各自に内容確認を促し、授業内で解説を行います。

教科書コメント

プリント使用の予定

その他

授業時間内に使用する可能性があるので、独和辞典を持参してください。
電子辞書でも良いです。

講義コード	U821001109	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)9		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西2-404		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。これまでのドイツ語知識を確認し、復習することから始めます。その後は、新聞・雑誌記事、物語などを読みます。テーマはそのつど、なるべく学習者の興味に応じたものを選択します。

到達目標

新聞・雑誌記事、物語などを読み、さまざまな文体に慣れると同時に、文法・文構造への理解をより深め、読解の精度を高められる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	こちらで用意したテキストを読み進めます テキスト読解1
第3回	テキスト読解2
第4回	テキスト読解3
第5回	テキスト読解4
第6回	テキスト読解5
第7回	テキスト読解6
第8回	テキスト読解7
第9回	テキスト読解8
第10回	テキスト読解9
第11回	テキスト読解10
第12回	テキスト読解11
第13回	理解度の確認
第14回	テキスト読解12
第15回	テキスト読解13
第16回	テキスト読解14
第17回	テキスト読解15
第18回	テキスト読解16
第19回	テキスト読解17
第20回	テキスト読解18
第21回	テキスト読解19
第22回	テキスト読解20
第23回	テキスト読解21
第24回	テキスト読解22
第25回	テキスト読解23
第26回	理解度の確認

授業方法

訳の発表および、文法・文構造についての質問に答えてもらいます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

指示した箇所を予習してくること(約90分)。文構造をひとつひとつ丁寧に分析し、意味だけでなくそこに含まれている文法および文構造についても述べられるよう、万全な準備をしてください。授業後は、知識が不足していたと感じる箇所を中心に十分に復習をしてください(約40分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加):30% 文法を理解し、テキストに対し十分に取り組んだ上で授業に参加しているかなど、平常点を重視します。なお、全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。第1学期(学期末試験):35% 第2学期(学年末試験):35%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答案は返却し、授業内で解説を行います。

参考文献コメント

独和辞典は必ず持参してください。また、初級の授業で使用した文法教科書も随時参照できるように手元に用意しておいてください。

講義コード	U821001110	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)10		
副題	読解を通して、初級文法の復習と中級文法入門を行う		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-206		

授業概要

ドイツ語初級文法を学習した学生を対象としたクラスです。テキストを読みながら、基礎的な文法事項の確認と復習をします。1学期はリライトされたグリム童話を読み、過去形、前置詞、接続詞、冠詞等の復習に重点をおきます。2学期は、ドイツの職業学校で若い人達が座学と実践で学んでいる職業をテーマとします。具体的にはインタビューテキストや説明文を読み、テキストの構造、関連性を意識しながら要旨をつかむ勉強をします。

到達目標

ドイツ語検定2～3級合格程度の読解力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション(辞書・テキスト紹介、授業の進め方)、試験・評価方法、履修者確定
第2回	Frau Holle (1)
第3回	Frau Holle (2)
第4回	Frau Holle (3)
第5回	Frau Holle (4)
第6回	Frau Holle (5)
第7回	Frau Holle (6)
第8回	Frau Holle (7)
第9回	Frau Holle (8)
第10回	Frau Holle (9)
第11回	Frau Holle (10)
第12回	1学期の振り返り(1)
第13回	1学期の振り返り(2)
第14回	ドイツの教育制度、職業教育について
第15回	Friseur*in (1)
第16回	Friseur*in (2)
第17回	Friseur*in (3)
第18回	Friseur*in (4)
第19回	Holzspielzeugmacher*in (1)
第20回	Holzspielzeugmacher*in (2)
第21回	Holzspielzeugmacher*in (3)
第22回	Konditor*in (1)
第23回	Konditor*in (2)
第24回	Konditor*in (3)
第25回	2学期の振り返り(1)
第26回	2学期の振り返り(2)

授業計画コメント

2学期のテーマは、履修者の理解度と関心などを参考に順番を変更したり種類を増やしたり上記に挙げていない職業を対象とする可能性もあります。

授業方法

読むテキストは教室で配布します。授業終了後にはMoodleにアップした資料をダウンロードできるようにしておきます。欠席、無くした、忘れたなどの理由でテキスト無しで授業を受けることはできないようになっています。テキストを音読し意味を言っただきこちらからの質問に答えていただきます。またテキスト種類によっては(特に1学期)テキストの空欄を適切に埋めることで、文法事項の復習を意識的に行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

履修者全員があらかじめテキストを読み(必要があれば空欄を埋めて適切な文にする)、音読、意味および文法解説ができるように準備してください(宿題の形で提示します)。宿題をする中で出てきた疑問点は授業中に質問して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

各学期の最終授業日の前週に筆記試験を実施します。採点した解答用紙は最終授業日に返却し、正解チェック、質疑応答の時間を設けます。その上で各学期の学習事項の総まとめと確認をします。

教科書コメント

授業中にプリント配布します。

その他

皆さんへ伝達事項がある場合は、Moodleの「アナウンスメント」機能を利用し履修者全員へ一斉送信します。正しく受信できるよう、自分が日頃から最もよく使用しているメールアドレスを登録しておいて下さい。
皆さんから私への個別連絡はMoodleを利用する、あるいは上記のアドレス宛に送信して下さい。

講義コード	U821001111	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)11		
副題	Eile mit Weile!		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1-109		

授業概要

1学期は接続法の概略と練習から始め、易しいラジオドラマを読む。2学期にはいくつかの文学作品に触れる。ドイツ語の歌も時折紹介し、また、一緒に歌いもしたい。

到達目標

辞書を引きながら、易しい文学作品を読めるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーションと初級文法(動詞変化と格変化)の基礎の確認。
第2回	接続法の概説。
第3回	接続法の練習。
第4回	接続法のまとめ。
第5回	"Vera sucht einen Beruf"1
第6回	"Vera sucht einen Beruf"2
第7回	"Vera sucht einen Beruf"3
第8回	"Vera sucht einen Beruf"4
第9回	"Papa, Charly hat gesagt"1
第10回	"Papa, Charly hat gesagt"2
第11回	"Papa, Charly hat gesagt"3
第12回	"Papa, Charly hat gesagt"4
第13回	"Papa, Charly hat gesagt"5
第14回	1学期末テストの返却と確認。2学期へのEinführung
第15回	Hebel"Kannitverstan"1
第16回	Hebel"Kannitverstan"2
第17回	Hebel"Unverhofftes Wiedersehen"1
第18回	Hebel"Unverhofftes Wiedersehen"2
第19回	Hebel"Unverhofftes Wiedersehen"3
第20回	Kästner"Emil und die Detektive"
第21回	Kafka"Vor dem Gesetz"
第22回	Kafka"Ein Bericht für eine Akademie"1
第23回	Kafka"Ein Bericht für eine Akademie"2
第24回	Kafka"Ein Bericht für eine Akademie"3
第25回	Kafka"Ein Bericht für eine Akademie"4
第26回	Kafka"Ein Bericht für eine Akademie"5

授業計画コメント

上記の授業内容に記した作品は一つの提案であり、受講者に要望があれば、それを取りあげることもありうる。

授業方法

演習の形態で行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

演習授業は受講者の参加によって成り立つので、毎回、1時間以上予習をして出席してほしい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

語学は成績をつける時に「どの程度できているか」が評価されるので、学年末試験を最も重視する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に全体に向けてフィードバックする。

教科書コメント

教材はすべてコピーを配付する。

講義コード	U821001112	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)12		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 中央-505		

授業概要

ドイツ語の初級文法を一通り学習した学生を対象とします。
ドイツ語読解の基本を押さえ、既習・未習の事項を確認、説明しつつ、テキストを読んでいます。
扱うテキストは、ドイツ語の子供向け百科事典サイトや、ドイツ語学習者向けのニュースサイト、さらにドイツ国内の名所や博物館等のWebサイト等から、参加者の興味関心に応じながら選びます。
平易で短いテキストから始め、徐々に長いテキストを読めるようにしていきます。適宜音読や聞き取りも取り入れ、音声からの読解も練習していきます。

到達目標

各自が興味ある分野のドイツ語による情報を独自に入手し、平易なテキストであれば自力で大まかな内容を理解でき、難しいものでも辞書等の助けがあれば理解できるレベルに達することが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語読解の基礎、Tiere (生き物)1 Käfer (甲虫) 動詞の現在人称変化
第2回	Tiere1-2 Käfer 名詞の性数格、比較表現
第3回	Tiere1-3 Käfer 形容詞の付加語的用法、現在完了
第4回	Tiere2-1 Bär (熊) 前置詞、助動詞、同等比較
第5回	Tiere2-2 Bär sein/habenの過去形、3・4格支配の前置詞
第6回	Tiere3 Hai (鮫) 関係代名詞
第7回	Tiere まとめと復習
第8回	Fußball1 (サッカー) 受動態
第9回	Fußball2 接続詞①
第10回	Fußball3 接続詞②
第11回	Fußball4
第12回	ドイツ第2帝国とサッカー①
第13回	ドイツ第2帝国とサッカー②
第14回	第1学期まとめ 理解度の確認
第15回	Personen (人物)1 Beethoven / Hitler 過去形、使役lassen
第16回	Personen2-1 Chaplin 受動、色々な従属接続詞
第17回	Personen2-2 Chaplin 分詞、呼応表現
第18回	Der große Diktator—HitlerとChaplin—①
第19回	Der große Diktator—HitlerとChaplin—② Der große Diktator—HitlerとChaplin—②
第20回	Deutsche Erfindungen (ドイツの発明品)
第21回	Deutsche Erfindungen 前置詞付きの関係代名詞
第22回	Feste und Bräuche (祝祭)1 Advent (待降節)
第23回	Feste und Bräuche2 Nikolaus (聖ニコラウス)、Weihnachtsmärkte (クリスマスマーケット)
第24回	Feste und Bräuche3 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig1 (聖トーマス教会合唱隊)
第25回	Feste und Bräuche3 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig2 (聖トーマス教会合唱隊)
第26回	第2学期まとめ 理解度の確認

授業計画コメント

第1学期は文法確認をしながらゆっくり着実に力をつけていきます。
授業内容の欄には用意したテキストの内容を一応記載しましたが、特に2学期は参加者の興味に応じて臨機応変にテキストを選んでいくつもりです。応用練習のつもりで、様々なテキストに挑戦していきましょう。

授業方法

対面授業でペアワーク、グループワークも取り入れながら、全員でテキストを読み進めていきます。
授業内で指示された課題(予習、復習、練習問題等)は、必ず行ってください。
予習・復習には学習プラットフォームMoodleを利用してください。
場合によっては遠隔授業を利用することがあるかもしれません。その場合は基本的に同時配信型で行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習、文の構造チェック、単語の下調べ、練習問題、音読等、毎回少しずつ課題を出します。無理なく30分程度でこなせるような内容にしますので、必ず行ってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:毎回の課題(予習・復習)への取り組み状況、毎回の授業での参加度を点数化します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書コメント

毎回プリントを使用します。教室で配布、または各自Moodleからダウンロードしてください。市販の教科書を新たに購入することはありません。すでに持っている初級の文法教科書を活用しましょう。

参考文献コメント

独和辞典を持参してください。ネット上の翻訳アプリなどは意味がないので使用しないこと。初級で用いた文法教科書を活用しましょう。

その他

皆さんの積極的な参加が必要不可欠です。期待しています。
授業前20分、教室または講師控室で、それ以外はメールでの質問を受け付けます。Moodleのチャット機能も利用可です。

講義コード	U821001113	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)13		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1-103		

授業概要

ドイツ語圏における様々なテーマ(歴史、社会、生活など)について、ドイツ語テキストを読みながら学んでいくことを目的とした授業です。初級文法を終えた学生を対象として、できるだけ多くのドイツ語を読み、文法事項の確認や語彙の増強を図ります。

到達目標

辞書を引きながらであればある程度のドイツ語読解ができるようになること、またそれによって日本語・英語に加えてドイツ語圏における情報へも目を向け、国際的な視野を持って物事を相対的に判断できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	自己紹介
第2回	地理と気候(1)文法
第3回	地理と気候(2)テキスト読解
第4回	食生活(1)文法
第5回	食生活(2)テキスト読解
第6回	ドイツ語という言葉(1)文法
第7回	ドイツ語という言葉(2)テキスト読解
第8回	ドイツの大学(1)文法
第9回	ドイツの大学(2)テキスト読解
第10回	祝日と休暇(1)文法
第11回	祝日と休暇(2)テキスト読解
第12回	ドイツの治安事情(1)文法
第13回	ドイツの治安事情(2)テキスト読解
第14回	1学期の復習
第15回	教育制度(1)文法
第16回	教育制度(2)テキスト読解
第17回	政治制度(1)文法
第18回	政治制度(2)テキスト読解
第19回	ドイツの歴史概観(1)文法
第20回	ドイツの歴史概観(2)テキスト読解
第21回	音楽の国ドイツ(1)文法
第22回	音楽の国ドイツ(2)テキスト読解
第23回	ドイツの宗教事情(1)文法
第24回	ドイツの宗教事情(2)テキスト読解
第25回	二つのドイツ(1)文法
第26回	二つのドイツ(2)テキスト読解

授業計画コメント

クラスの理解度に応じて上記授業計画は修正する可能性があります

授業方法

- ・文法を扱う回では教員による解説のあと、適宜グループワークを取り入れ共同で課題に取り組んでいきます
- ・テキスト読解は予習を前提とし、輪読形式で進めます

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 文法:初級文法教科書等の確認や振り返り/テキスト読解:授業時に指定された箇所の単語調べ(30分程度)
 復習: 授業内で扱ったテキストの訳や間違えていた課題の見直し(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	80 %	Lektionごとに実施される小テストの評点
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	授業内で提示された課題や質問に対する取り組みや解答に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

小テストは各課が終了した次の週の冒頭実施されます。

平常点として、輪読の際に指定された箇所をきちんと理解できているかや、その箇所と関連する文法事項等に関する理解度を評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

知りたいドイツ語 ～読みながらステップアップ～, 斎藤太郎 / Siegfried Kohlhammer, 朝日出版, 2018, 978-4-255-25403-6

参考文献コメント

辞書は必ず毎回持参すること。

また、必要に応じて初級時の教科書も参照してください。

その他

疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。

講義コード	U821001114	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)14		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1-104		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法、読解力の定着を目指す。なお、初回は初級文法の復習を行なうので、ベーシックで使用した教科書を持参すること。

到達目標

辞書を使って、自力でドイツ語の文章を読んだり、ドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、初級の復習、、ドイツについて(DVD鑑賞)
第2回	初級の復習(動詞系)
第3回	初級の復習(名詞・冠詞系)
第4回	テキスト購読(1)
第5回	テキスト購読(2)
第6回	テキスト購読(3)
第7回	テキスト購読(4)
第8回	テキスト購読(5)
第9回	テキスト購読(6)
第10回	テキスト購読(7)
第11回	テキスト購読(8)
第12回	テキスト購読(9)
第13回	前期総まとめ
第14回	前期の復習(試験返却)、オクトーバーフェスト1(DVD鑑賞)
第15回	テキスト購読(10)、オクトーバーフェスト2(DVD鑑賞)
第16回	テキスト購読(11)、ベルリンの壁(DVD鑑賞)
第17回	テキスト購読(12)
第18回	テキスト購読(13)
第19回	テキスト購読(14)
第20回	テキスト購読(15)、ドイツ再統一(DVD鑑賞)
第21回	テキスト購読(16)
第22回	テキスト購読(17)
第23回	テキスト購読(18)、ドイツのクリスマス1(DVD鑑賞)
第24回	テキスト購読(19)、ドイツのクリスマス2(DVD鑑賞)
第25回	まとめ
第26回	総まとめ

授業計画コメント

上にも書いたとおり、初回は、初級文法の復習・補足説明を行うので、必ずベーシックで使用した教科書を持参すること。辞書は初級で使用したものを引き続き使用して下さい。

授業方法

基本は学生諸君がテキストの訳読や練習問題をやる形になりますが、適宜文法説明や関連映像の上映も行なっていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次週授業で進む範囲は指示するので、その範囲はしっかり読んで訳してくること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。

教科書

CD付き ドイツ人を知る9章+1,大谷弘道,三修社,2007x,978-4-384-13082-9 C1084

講義コード	U821002101	科目ナンバリング	002D323
講義名	ドイツ語R(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 中央-505		

授業概要

テキスト理解を深めるのに必要なドイツ語圏の社会、文化、歴史等に関する知識を踏まえた、高度な読解力を身につけることを目標とする。扱うテキストはできる限り受講者の希望に沿ったものを使用する。テキストの難易度は独検2級～準1級のレベルを想定している。

到達目標

各種のドイツ語文章を、文法を踏まえ、更に、社会や文化、歴史的背景等も考慮し、より深く読み解くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第13回	総括
第14回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第15回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第26回	総括

授業計画コメント

授業方法

読解中心になるが、その都度テキストの内容や背景に関し、受講者が意見を述べたり、討論するような形にしたいと思っているので、受講者には積極的に意見や感想を述べて貰いたい。また、最初のテキスト以外は、出来る限り受講者の興味関心に沿ったテキストを読みたいと思っているので、読みたいと思う分野、或いはテキストそのものを遠慮せずに提案して欲しい。出来るだけ多くの文章を読みたいとは思っているが、消化不良を起こしては意味がないので、無理のない進捗で進めるつもりである。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化理解のために、写真等も見ると予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験は授業で学習した内容を問う問題となるので、予習・復習・授業への参加が大事なポイントになる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

講義コード	U821100101	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)1		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1-107		

授業概要

ドイツの生活の様々なシーンをとりあげたテキストを用いて、実際の生活で使える身近なドイツ語の表現能力を身につけていきます。

到達目標

ドイツ語の基礎的な文法を習得しながらコミュニケーション能力をつけていきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	ドイツ語の発音 挨拶 自己紹介
第3回	文法:現在人称変化
第4回	発音
第5回	数の練習 名詞と冠詞
第6回	電話番号をたずねる
第7回	買い物 感想 注文
第8回	冠詞類 形容詞
第9回	趣味の話
第10回	助動詞 形容詞の比較表現
第11回	不規則変化動詞 分離動詞
第12回	休みの過ごし方
第13回	まとめとふりかえり
第14回	食事 生活習慣
第15回	時刻の表現
第16回	部屋の説明 道案内
第17回	前置詞 接続詞
第18回	家族 職業
第19回	助動詞の練習
第20回	賛成と反対の表現
第21回	職業の話
第22回	家族の話
第23回	助動詞 冠詞
第24回	ショッピング いろいろな店
第25回	前置詞 接続詞
第26回	まとめとふりかえり

授業方法

対面形式によるグループワークを中心とした授業です

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で学習した内容の復習、作文練習など

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト	60 %	2回の試験

レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期、第2学期に学習した内容を確認する試験として、2回の試験を行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内に適宜フィードバックします

教科書

ドイツ語シェアハウス,マルクス・リュウシュ,朝日出版社,初,2024,978-4-255-25472-2

講義コード	U821100102	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)2		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-209		

授業概要

会話形式の練習を通して、ドイツ語の表現を習得を試みます。

到達目標

発話・聞き取り練習によりドイツ語運用能力の基礎を身に付け、簡単な会話ができるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の単語の発音について
第2回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(1)
第3回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(2)
第4回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(3) 自分や他人の紹介をする練習(1)
第5回	自分や他人の紹介をする練習(2)
第6回	自分や他人の紹介をする練習(3) 自分の持ち物について話す練習(1)
第7回	自分の持ち物について話す練習(2)
第8回	自分の持ち物について話す練習(3) 買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(1)
第9回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(2)
第10回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(3) 家族のことを紹介する練習(1)
第11回	家族のことを紹介する練習(2)
第12回	家族のことを紹介する練習(3) 全体の振り返り
第13回	まとめ
第14回	自分の好きなことについて話す練習(1)
第15回	自分の好きなことについて話す練習(2)
第16回	自分の好きなことについて話す練習(3) 衣服や身の回りの品物について話す練習(1)
第17回	衣服や身の回りの品物について話す練習(2)
第18回	衣服や身の回りの品物について話す練習(3) 位置関係を説明する練習(1) 道案内をする練習
第19回	位置関係を説明する練習(2) 時刻の表現練習(1)
第20回	時刻の表現練習(2)
第21回	休暇について話す練習(1)
第22回	休暇について話す練習(2)
第23回	休暇について話す練習(3) 体にかかわること、体調について話す練習(1)
第24回	体にかかわること、体調について話す練習(2)
第25回	体にかかわること、体調について話す練習(3) 全体の振り返り
第26回	まとめ

授業方法

グループワークならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を目を通して、練習内容を確認しておいてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、グループワーク、課題提出がポイントとなります。
進度に応じ、小テストを行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて、返却します。

教科書

クラッセ！ ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付),谷澤優子、白木和美、ガブリエラ・シュミット,白水社,2018,9784560064214

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向きとして以下の辞書があげられます。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

講義コード	U821100103	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1-208		

授業概要

言語の仕組みを中心に学ぶドイツ語Bに対して、ドイツ語Cでは対話形式のパートナー練習を中心に、日常的な場面で応用の効く「型」となる表現を数多く覚えます。合わせてドイツ語圏社会・文化に関する理解と関心も深めます。

到達目標

日常的な場面での基礎的なドイツ語表現や語彙を理解し、それを発信できるようになります(ドイツ語検定4～3級レベルの会話表現)。

授業内容

実施回	内容
第1回	Lektion 0 Hallo! アルファベット
第2回	Lektion 0 Hallo! 綴りと発音の関係 挨拶 数字
第3回	Lektion 1 Wie heißt du? 動詞の現在人称変化 語順
第4回	Lektion 1 Wie heißt du? seinの人称変化 自己紹介の表現
第5回	Lektion 2 Was ist das? 名詞の性・数・格 定冠詞・不定冠詞の格変化
第6回	Lektion 2 Was ist das? habenの人称変化 買い物の表現
第7回	Lektion 3 Das Buch gehört mir. 複数形 男性弱変化名詞 人称代名詞の格変化
第8回	Lektion 3 Das Buch gehört mir. 持ち物の所属の表現 時刻の表現
第9回	Lektion 4 Fährst du nach München? 不規則変化動詞 命令形
第10回	Lektion 4 Fährst du nach München? 好き嫌いの表現
第11回	Lektion 5 eine Familie 所有冠詞 否定冠詞
第12回	Lektion 5 eine Familie 家族を紹介する表現
第13回	1学期の振り返り
第14回	Lektion 6 Wie komme ich zur Post? 前置詞の格支配
第15回	Lektion 6 Wie komme ich zur Post? 物の場所・道案内の表現
第16回	Lektion 7 Wann stehst du morgen auf? 分離動詞・非分離動詞
第17回	Lektion 7 Wann stehst du morgen auf? 一日のスケジュールを伝える表現
第18回	Lektion 8 Kannst du gut Deutsch sprechen? 話法の助動詞 従属の接続詞
第19回	Lektion 8 kannst du gut Deutsch sprechen? 依頼・誘い・許可・意志を伝える日常表現
第20回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? zu不定詞句
第21回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? 再帰動詞
第22回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? 相手の意向・関心の対象を尋ねる表現
第23回	Lektion10 Was hast du am Wochenende gemacht? 動詞の三基本形 過去形
第24回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 現在完了形
第25回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 過去を語る表現
第26回	2学期の振り返り

授業計画コメント

1課を2回～3回で進める予定ですが、進度はあくまで目安です。

授業方法

対面授業です。各課では文法の解説の後、文法確認練習⇒会話練習⇒会話・作文練習(ヒアリング含む)⇒読解練習といった流れで「聴く・話す・読む・書く」力をつけていきます。尚、何らかの事情で対面授業ができない場合はオンデマンド型授業に切り替えます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが復習は必須です。毎回宿題・課題が出ます(1時間～)。授業で口頭で行った練習は自宅でノートに書き写し、何度も声に出して練習してください。語彙を整理し覚えていく努力も必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	15 %	作文等課題提出
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	クラス参加の積極性など
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

前後期の期末試験の成績が70%、平常点と提出課題が30%で評価します。各期末試験は、出席が授業数の3分の2を超えていないと受けられません。また遅刻は2回で1回の欠席とみなされます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期末試験と提出課題は講評の上返却します。

教科書

つながるドイツ語 みっとりーべ,中村修/中川拓哉/大澤タカコ,朝日出版社,初,2019,9784255254210

その他

新型コロナ罹患など、出席が困難な状況が続く場合は速やかに相談してください。学期末になってからのいきなりの相談には原則応じられません。

講義コード	U821100104	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西1-107		

授業概要

ドイツ語を読み、書き、話し、聞く能力の文法基盤を習得します。

到達目標

基本的なドイツ語の文法事項を一通り網羅し、簡単な文を作れ、理解できるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Lektion 1 A/B Kursbuch 教科書
第3回	Lektion 1 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第4回	Lektion 1 C/D/E Kursbuch 教科書
第5回	Lektion 1 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第6回	Lektion 2 A/B Kursbuch 教科書
第7回	Lektion 2 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第8回	Lektion 2 C/D/E Kursbuch 教科書
第9回	Lektion 2 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第10回	Lektion 3 A/B/C Kursbuch 教科書
第11回	Lektion 3 A/B/C Arbeitsbuch ワークブック
第12回	Lektion 3 C/D/E Kursbuch 教科書/ワークブック
第13回	第1学期のまとめ
第14回	Lektion 4 A/B Kursbuch 教科書
第15回	Lektion 4 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第16回	Lektion 4 C/D/E Kursbuch 教科書
第17回	Lektion 4 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第18回	Lektion 5 A/B Kursbuch 教科書
第19回	Lektion 5 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第20回	Lektion 5 C/D/E Kursbuch 教科書
第21回	Lektion 5 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第22回	Lektion 7 A/B Kursbuch 教科書
第23回	Lektion 7 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第24回	Lektion 7 C/D/E Kursbuch 教科書
第25回	Lektion 7 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第26回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

教科書(Kursbuch)とワークブック(Arbeitsbuch)が一緒になっており、1課4回のペースで進めていきます。

授業方法

各課教科書で文法のポイントを押さえ、ワークブックで練習し使えるようにします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

課題となった練習問題は必ずやってくること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	

学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

筆記試験と平常点を合わせ60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受けられる資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題と筆記試験は答え合わせと解説をして、どこが間違っていたか、何が理解できていないかを把握できるようにします。

教科書

Schritte international Neu 1Kursbuch + Arbeitsbuch mit Audio-CD zum Arbeitsbuch und interaktiven Übungen, Monika Bovermann, Daniela Niebisch, Franz Specht, Monika Reimann, Sylvette Penning-Hiemstra, Hueber, 最新, 9783193610829

参考文献コメント

独和辞典があると好ましい(電子辞書も可)

講義コード	U821100105	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)5		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 中央-506		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけでなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(1)
第3回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(2)
第4回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(3)
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など (1)
第6回	Lektion 2 家族や友達の紹介など (2)
第7回	Lektion 2 家族や友達の紹介など (3)
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物 (1)
第9回	Lektion 3 食べ物と飲み物 (2)
第10回	Lektion 3 食べ物と飲み物 (3)
第11回	Lektion 4 住居に関して (1)
第12回	Lektion 4 住居に関して (2)
第13回	Lektion 4 住居に関して (3)
第14回	第1学期の復習
第15回	Lektion 5 一日の出来事について (1)
第16回	Lektion 5 一日の出来事について (2)
第17回	Lektion 5 一日の出来事について (3)
第18回	Lektion 6 余暇について (1)
第19回	Lektion 6 余暇について (2)
第20回	Lektion 6 余暇について (3)
第21回	Lektion 7 趣味と勉強 (1)
第22回	Lektion 7 趣味と勉強 (2)
第23回	Lektion 7 趣味と勉強 (3)
第24回	Lektion 7 趣味と勉強 (4)
第25回	まとめ
第26回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみよう。

授業方法

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,9783193610829

講義コード	U821100106	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 南1-306		

授業概要

アルファベットから始め、簡単な会話やテキストを用いて基本文法と話す力を養う訓練する。会話やテキストには、ドイツについての情報が含まれていて、異文化理解の助けとなる。正しい発音ができるようになるよう留意したい。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

到達目標

初級のクラスで、ドイツ語の予備知識は必要ありません。文法と学習の仕方は日本語で説明します。家族と友人、飲食、勉強と余暇、買い物と旅行といったテーマについて簡単な表現で話せるようになります。また、これらのテーマについて書かれた簡単な文章を読んで理解できるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介授業の説明、成績評価の説明
第2回	つづき、アルファベット発音
第3回	自己紹介とアルファベットの復習15分(口頭あるいは書き記しながら)、第1課 (自己紹介) (人称代名詞 動詞)
第4回	復習15分 (第1、2課) (家族や友達) 動詞と冠詞、冠詞の格変化、疑問文のある疑問文
第5回	復習15分 (第1、2課) 動詞、人称代名詞、所有冠詞(入門)
第6回	復習15分 (第1、2課) 定冠詞、不定冠詞、否定冠詞
第7回	テスト第1-2課、成績評価に大切
第8回	第3課(食べ物、飲み物)、単語と冠詞、不規則動詞、決定疑問文
第9回	復習15分、第3課、否定冠詞、名詞の複数形
第10回	第3課の復習、第4課前半(お住まい) 定冠詞類の使い方、副詞(ここ、そこ)
第11回	第4課の復習、数詞
第12回	第1-4課の復習
第13回	テスト第1-4課、成績評価に大切
第14回	第1-4課の復習、数詞、第1課の冒頭部分、単語、4格代名詞
第15回	復習15分、第4課後半、形容詞、否定副詞、3格の人称代名詞
第16回	第4課の中の新聞の記事を読む、練習
第17回	復習15分、第5課(私の一日)、時間と時間の前置詞、曜日、分離動詞
第18回	第5課の復習
第19回	テスト第4-5課、成績評価に大切
第20回	第6課(暇) 天気、買い物、レストランでの会話、4格の冠詞、代名詞、不規則動詞、
第21回	復習15分、第6課、助動詞/1、ja-nein-doch
第22回	第6課の復習
第23回	復習15分、第7課(外国語を学ぶ、外国語の学び方) 助動詞/2
第24回	復習15分、第7課、現在完了形
第25回	復習15分、第7課、現在完了形続き、テストの説明 第6課、第7課
第26回	テスト第6-7課、成績評価に大切

授業計画コメント

特になし

授業方法

授業方法(対面授業の場合) / Teaching Method (face-to-face lessons)
教科書を基にして練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

休まずに出席して下さい。毎回教科書を持ってきて下さい。しっかり勉強してテストに臨んで下さい。宿題が出されたときは期限内に提出して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

Schritte international Neu 1 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch: Schritte international ,D. Niebisch et.al., Hueber Verlag, newest, 9783193610829

教科書コメント

出来るだけ早く教科書を購入して下さい。

その他

office hour. Please contact me: ribrie26@yahoo.de

講義コード	U821100107	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1-109		

授業概要

ドイツ語Bでは文法を理解し修得するための授業が行われるが、ドイツ語Cはそれを補完しつつ、ドイツ語を使う練習に多くの時間が割かれる。時間の許すかぎり、学生同士での対話練習を行ないたい。

到達目標

簡単な文を聞き取ることができ、まとまった短い文章でも辞書があればおおよそ理解できるようになる。また、表現力も身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツとドイツ語への導入。アルファベット。
第2回	ドイツ語の発音の要領。
第3回	第1課:自己紹介。
第4回	第1課:話し合ってみる。
第5回	第2課:冠詞+名詞を使っているいろいろな言ってみる。
第6回	第2課:話し合ってみる。
第7回	第3課:名詞の格に注意する。
第8回	第3課:話し合ってみる。
第9回	第4課:前置詞を覚える。
第10回	第4課:話し合ってみる。
第11回	第5課:冠詞類と人称代名詞を覚える。
第12回	第5課:話し合ってみる。
第13回	第6課:形容詞の変化いろいろ。
第14回	第1学期の学期末試験返却と振り返り。
第15回	第7課:助動詞と分離動詞。
第16回	第7課:話し合ってみる。
第17回	第8課:動詞の過去形。接続詞。
第18回	第8課:話し合ってみる。
第19回	第9課:現在完了。
第20回	第9課:話し合ってみる。
第21回	第10課:受動と再帰動詞。
第22回	第10課:話し合ってみる。
第23回	第11課:zu不定詞句。
第24回	第11課:話し合ってみる。
第25回	第12・13課:関係文。
第26回	第12・13課:話し合ってみる。

授業計画コメント

文法を押さえながら、日常的なドイツ語の表現の仕方を理解し覚えてもらいたい。

授業方法

毎回、宿題を出し、受講者に参加してもらおう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業時に学習する部分を予習する。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	

学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

普段の勤勉度を評価するために第1学期末試験と平常点をチェックする。だが、外国語の評価で何よりも重視すべきものは、評価時に行なう学年末試験である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に全体に向けてフィードバックする。

教科書

問いかけるドイツ語(新版),大谷弘道、大谷ウルズラ,三修社,初,2017,978-4-384-12293-0 C1084

講義コード	U821100108	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)8		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-208		

授業概要

言語の仕組みを中心に学ぶドイツ語Bに対して、ドイツ語Cでは対話形式のパートナー練習を中心に、日常的な場面で応用の効く「型」となる表現を数多く覚えます。合わせてドイツ語圏社会・文化に関する理解と関心も深めます。

到達目標

日常的な場面での基礎的なドイツ語表現や語彙を理解し、それを発信できるようになります(ドイツ語検定4～3級レベルの会話表現)。

授業内容

実施回	内容
第1回	Lektion 0 Hallo! アルファベット
第2回	Lektion 0 Hallo! 綴りと発音の関係 挨拶 数字
第3回	Lektion 1 Wie heißt du? 動詞の現在人称変化 語順
第4回	Lektion 1 Wie heißt du? seinの人称変化 自己紹介の表現
第5回	Lektion 2 Was ist das? 名詞の性・数・格 定冠詞・不定冠詞の格変化
第6回	Lektion 2 Was ist das? habenの人称変化 買い物の表現
第7回	Lektion 3 Das Buch gehört mir. 複数形 男性弱変化名詞 人称代名詞の格変化
第8回	Lektion 3 Das Buch gehört mir. 持ち物の所属の表現 時刻の表現
第9回	Lektion 4 Fährst du nach München? 不規則変化動詞 命令形
第10回	Lektion 4 Fährst du nach München? 好き嫌いの表現
第11回	Lektion 5 eine Familie 所有冠詞 否定冠詞
第12回	Lektion 5 eine Familie 家族を紹介する表現
第13回	1学期の振り返り
第14回	Lektion 6 Wie komme ich zur Post? 前置詞の格支配
第15回	Lektion 6 Wie komme ich zur Post? 物の場所・道案内の表現
第16回	Lektion 7 Wann stehst du morgen auf? 分離動詞・非分離動詞
第17回	Lektion 7 Wann stehst du morgen auf? 一日のスケジュールを伝える表現
第18回	Lektion 8 Kannst du gut Deutsch sprechen? 話法の助動詞 従属の接続詞
第19回	Lektion 8 kannst du gut Deutsch sprechen? 依頼・誘い・許可・意志を伝える日常表現
第20回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? zu不定詞句
第21回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? 再帰動詞
第22回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? 相手の意向・関心の対象を尋ねる表現
第23回	Lektion10 Was hast du am Wochenende gemacht? 動詞の三基本形 過去形
第24回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 現在完了形
第25回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 過去を語る表現
第26回	2学期の振り返り

授業計画コメント

1課を2回～3回で進める予定ですが、進度はあくまで目安です。

授業方法

対面授業です。各課では文法の解説の後、文法確認練習⇒会話練習⇒会話・作文練習(ヒアリング含む)⇒読解練習といった流れで「聴く・話す・読む・書く」力をつけていきます。尚、何らかの事情で対面授業ができない場合はオンデマンド型授業に切り替えます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが復習は必須です。毎回宿題・課題が出ます(1時間～)。授業で口頭で行った練習は自宅でノートに書き写し、何度も声に出して練習してください。語彙を整理し覚えていく努力も必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	15 %	作文等課題提出
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	クラス参加の積極性など
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

前後期の期末試験の成績が70%、平常点と提出課題が30%で評価します。各期末試験は、出席が授業数の3分の2を超えていないと受けられません。また遅刻は2回で1回の欠席とみなされます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期末試験と提出課題は講評の上返却します。

教科書

つながるドイツ語 みっとりーべ,中村修/中川拓哉/大澤タカコ,朝日出版社,初,2019,9784255254210

その他

新型コロナ罹患など、出席が困難な状況が続く場合は速やかに相談してください。学期末になってからのいきなりの相談には原則応じられません。

講義コード	U821100109	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)9		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西2-404		

授業概要

会話中心の教科書を用い、すぐ使えるドイツ語を身につけます。

到達目標

簡単な日常会話を習得できる。自分のこと、家族のこと、身の回りのもの、過去の出来事などについて言えるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス: ドイツ語とは、ドイツ語圏とは。
第2回	0課 発音 1課 あいさつ
第3回	1課 あいさつ
第4回	2課 自己紹介
第5回	2課 自己紹介
第6回	3課 持ち物について述べる
第7回	3課 持ち物について述べる
第8回	4課 食事、買い物、レストランでの注文
第9回	4課 食事、買い物、レストランでの注文
第10回	4課 食事、買い物、レストランでの注文
第11回	5課 家族の紹介
第12回	5課 家族の紹介
第13回	理解度の確認
第14回	6課 自分の好きなことを説明する
第15回	6課 自分の好きなことを説明する
第16回	7課 ファッション 衣服や身の回り品について述べる
第17回	7課 ファッション 衣服や身の回り品について述べる
第18回	8課 街にて 位置関係、道案内
第19回	8課 街にて 位置関係、道案内
第20回	9課 休暇について述べる
第21回	9課 休暇について述べる
第22回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第23回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第24回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第25回	総復習
第26回	理解度の確認

授業方法

ペアワーク、グループワークがメインです。積極的な授業参加が求められます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

十分な復習が必要です。
学んだ範囲は必ず声に出して何度も発音する(40分)。
キーフレーズを発音しながら書いて覚える(30分)。
宿題、作文等の課題(40分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点の評価には、自発的な発言など授業への積極的な参加が含まれます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1学期期末テストは返却し、授業内で解説します。

教科書

クラッセ！ノイ 初級ドイツ語総合読本,谷澤優子他,白水社,2,2018,9784560064214

講義コード	U821100110	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	METZING, Ronald Helmut Er		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1-206		

授業概要

授業の重点は日常的なコミュニケーションを問題なく行うための発音練習、身近な事柄についての口頭でのやりとりです。また授業ではドイツ語のみで行われます。グループワーク、インタビュー等の口頭での活動の他、初級ドイツ語を確実にしさらにステップアップするための他の3つの言語能力(聞く、書く、読む)も訓練します。また、文法の要素も重要不可欠です。学生には授業への積極的な参加が要求されます。また、毎回簡単な宿題を出します

到達目標

ドイツ語で的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる。
ドイツ語を発音するための音声学的な基礎を身につける。

日常的に頻繁に使用される簡単な文章を理解し、表現できる。(個人や家族の情報、買い物、仕事など)
身近なシチュエーションで簡単な基本的情報交換ができる
自分の身近な環境や事柄について簡単な言葉で記述することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	P9-11 第1課 こんにちは。私の名前は...です。
第2回	P12-14 こんにちは、私は...と申します。私の出身は...です。
第3回	P15-17 親称と敬称、つづりは...です。住所は...です。
第4回	P22-24 第2課 私の家族、ご機嫌いかがですか？
第5回	P25-27 こちらは私の兄です。人称代名詞、数。
第6回	P34-36 第3課 食べ物と飲み物、これは...ではありません。
第7回	P37-39 ...はありますか？値段、いくらですか？
第8回	P40-41 私の好物。
第9回	P46-48 第4課 私の住まい、不定冠詞と定冠詞。
第10回	P49-51 家具、色、...はいかがですか？
第11回	P52-53 不動産広告、私の机は...です。
第12回	ふりかえり 理解度の確認
第13回	フィードバック
第14回	P58-60 第5課 掃除
第15回	P61-63 時刻の読み方(口語的表現)、朝、昼、晩。
第16回	P64-65 時刻の読み方(公的表現)、ベルリンで何がありますか？
第17回	P70-72 第6課 天気
第18回	P73-75 チーズはありますか？4格、否定と肯定の表現。
第19回	P76-77 ドイツ、オーストラリア、スイスへの旅。
第20回	P82-83 第7課 学習
第21回	P84-85 私は...ができます、私は...がしたいです。
第22回	P86-87 現在完了(haben支配) 本当に楽しかった。
第23回	P88-89 現在完了(sein支配) 今日は町に行きました。
第24回	P92 おや、まあ、うーん...
第25回	ふりかえり 理解度の確認
第26回	フィードバック

授業方法

演習..ペアワークによる会話練習を行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

予習..単語の意味を調べる。復習...テキストを読んで内容を理解する。(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の積極的な参加を重視。テストはテキストの範囲内で出題。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答案用紙を返却し、解説を行う(最終授業)

教科書

Schritte International neu 1,D. Niebisch,9783193610829

講義コード	U821100111	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)11		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1-109		

授業概要

ドイツ語Bでは文法ルールの理屈が重要だが、ドイツ語Cは文法はほどほどにして、たくさんの口頭練習と筆記練習に時間が割かれる。使用するテキストは日常的語彙も豊富である。ドイツ語に慣れ親しんでもらうために、グループやペアでの対話練習を多く行う。

到達目標

日常的基本的な表現や対話のパターンを言ったり書いたりできるようになる。
辞書があれば易しい文章が読めるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	第1課(1)挨拶と自己紹介。
第2回	第1課(2)数字を覚える。発音。
第3回	第2課(1)名前や出身地などを尋ねる。
第4回	第2課(2)動詞の現在人称変化。
第5回	第3課(1)年齢・職業・趣味・専攻を問う。
第6回	第3課(2)前回の練習の続き。
第7回	第4課(1)名詞の性「これはスプーンです。」「そのサラダは新鮮です。」
第8回	第4課(2)名詞の複数形。いろんな食品の買い物をする。「～はいくらですか」
第9回	第4課(3)不規則変化動詞の現在人称変化。「朝食に卵を食べ、コーヒーを2杯飲む」
第10回	第5課(1)語順の理解。助動詞の使い方。
第11回	第5課(2)時刻。
第12回	文章の読解(1)これまでの勉強のまとめ。
第13回	文章の読解(2)辞書を活用して、短く易しい文章の読解。
第14回	期末テストの返却。現在完了の概略説明。
第15回	第6課(1)テキストの文章の訳と解説。
第16回	第6課(2)文章理解。
第17回	第6課(3)話し書く練習。
第18回	第7課(1)前置詞の基本。
第19回	第7課(2)前置詞の練習。
第20回	第8課(1)「～に…を贈る」パターン練習。
第21回	第8課(2)形容詞・副詞の比較。
第22回	文章読解(1)文法:受身。
第23回	文章読解(2)文法:再帰動詞。
第24回	文章読解(3)文法:副文(従属節)。
第25回	文章読解(4)文法:非人称のesとzu不定句。
第26回	文章読解(5)文法:関係文。

授業計画コメント

全部で8課のテキストを、おおよそ1課につき2～3回の授業でこなしてゆく。第1学期・第2学期とも期末試験の前に少し長い文章を読む練習をする。とくに第2学期の終わりには、テキストで扱われなかった文法を説明して、その課題を含む文章を読解したい。

授業方法

説明はなるべく少なくし、受講者がたくさんしゃべり、書くことを授業の中心にする。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業時に学ぶ範囲の予習、とくに単語の意味調べと発音を覚えること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

少しずつの積み重ねが大切なので、それを学期末試験と平常点で確認する。だが、最後にどれくらい理解し、知識を得たかが最も重要なので、学年末試験に重きを置く。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業の中で全体に向けてフィードバックを行なう。

教科書

改訂版・あつ、そう！—初級会話—, ブラウン、ザイデル、ヴィットカンブ、和泉, 同学社, 13, 2019, 978-4-8102-0952-5

講義コード	U821100112	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)12		
副題	Das Leben (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	伊藤 白		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 南1-201		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、街や家族の紹介など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気など)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベット
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, woher)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 2: 住所と電話番号;数字
第4回	Lektion 2+3: 喫茶店での会話;動詞の人称変化
第5回	Lektion 3: 喫茶店での会話;定冠詞と不定冠詞
第6回	Lektion 4: レストラン表現;疑問文と前置詞(mit, ohne)
第7回	Lektion 4+5: 時間の表現;曜日や時間
第8回	Lektion 5: 時間の表現;分離動詞
第9回	Lektion 6: 街を散策する;名詞の複数形
第10回	Lektion 6+7: 場所の表現;3・4格支配の前置詞
第11回	Lektion 7: 場所の表現;建物の中の案内
第12回	Lektion 8: 趣味や休暇について語り合う;war と haben の過去形;話法の助動詞(können)
第13回	1学期のまとめ
第14回	Lektion 9: 住居を紹介する;様々な形容詞表現
第15回	Lektion 9+10: 家族を紹介する;所有冠詞
第16回	Lektion 10: 家族を紹介する;現在完了形
第17回	Lektion 11: 体験談を語る;様々な職業に関する表現
第18回	Lektion 11+12: 料理;料理に関する表現
第19回	Lektion 12: 料理;話法の助動詞(müssen)
第20回	Lektion 13: スポーツ;命令形
第21回	Lektion 13+14: 衣服;衣服と色に関する表現
第22回	Lektion 14: 衣服;冠詞の代名詞化
第23回	Lektion 14+15: 季節と天気;天気予報、非人称表現(es)
第24回	Lektion 15: 季節と天気;形容詞の比較表現
第25回	Lektion 16: 旅行;休暇の計画を話す;話法の助動詞(wollen);
第26回	2学期のまとめ

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方法

授業は基本的に対面で行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2～3つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テスト返却時にコメントします。

教科書

Das Leben (A1.1): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

Das Leben (A1.2): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

その他

原則として1年次に履修すること。

講義コード	U821100113	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)13		
副題	Das Leben (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	伊藤 白		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 南1-201		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、街や家族の紹介など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気など)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベット
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, woher)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 2: 住所と電話番号;数字
第4回	Lektion 2+3: 喫茶店での会話;動詞の人称変化
第5回	Lektion 3: 喫茶店での会話;定冠詞と不定冠詞
第6回	Lektion 4: レストラン表現;疑問文と前置詞(mit, ohne)
第7回	Lektion 4+5: 時間の表現;曜日や時間
第8回	Lektion 5: 時間の表現;分離動詞
第9回	Lektion 6: 街を散策する;名詞の複数形
第10回	Lektion 6+7: 場所の表現;3・4格支配の前置詞
第11回	Lektion 7: 場所の表現;建物の中の案内
第12回	Lektion 8: 趣味や休暇について語り合う;war と haben の過去形;話法の助動詞(können)
第13回	1学期のまとめ
第14回	Lektion 9: 住居を紹介する;様々な形容詞表現
第15回	Lektion 9+10: 家族を紹介する;所有冠詞
第16回	Lektion 10: 家族を紹介する;現在完了形
第17回	Lektion 11: 体験談を語る;様々な職業に関する表現
第18回	Lektion 11+12: 料理;料理に関する表現
第19回	Lektion 12: 料理;話法の助動詞(müssen)
第20回	Lektion 13: スポーツ;命令形
第21回	Lektion 13+14: 衣服;衣服と色に関する表現
第22回	Lektion 14: 衣服;冠詞の代名詞化
第23回	Lektion 14+15: 季節と天気;天気予報、非人称表現(es)
第24回	Lektion 15: 季節と天気;形容詞の比較表現
第25回	Lektion 16: 旅行;休暇の計画を話す;話法の助動詞(wollen);
第26回	2学期のまとめ

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方法

授業は基本的に対面で行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2～3つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テスト返却時にコメントします。

教科書

Das Leben (A1.1): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

Das Leben (A1.2): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

その他

原則として1年次に履修すること。

講義コード	U821100114	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1-201		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスです。読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとしています。従って、文法練習や発音に関する練習も行います。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	はじめに・アルファベット
第2回	発音のルール
第3回	動詞の現在人称変化
第4回	「さあ行くよ、ライブツィヒ」
第5回	名詞の性と格
第6回	「シューベルト家」
第7回	名詞の複数形・人称代名詞の格
第8回	「町の中で」
第9回	分離動詞・話法の助動詞
第10回	「ミキの一日」
第11回	前置詞
第12回	「動物園での一日」
第13回	理解度の確認
第14回	再帰代名詞・命令形
第15回	「受診」
第16回	形容詞・副文
第17回	「ミキの誕生日」・「シュロス・プロシュヴィッツ」
第18回	現在完了形・過去形
第19回	「ライブツィヒにあるドイツの歴史」
第20回	受動態・関係文
第21回	「ドレスデン」
第22回	zu不定詞句・未来形
第23回	「環境」
第24回	接続法
第25回	「帰国」
第26回	理解度の確認

授業方法

各課ごとに文法の学習、練習問題を行った後、ビデオ教材を見ながら会話の内容を理解し、ドイツ語圏のさまざまな事情を紹介した読み物(Lesetext)を読んでいます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で扱う箇所の会話・練習問題・読み物の予習は必ず必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	

中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各期末試験の結果・授業中の課題への取り組みなどを総合的に評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書

ドイツ語の時間<わくわくライブツィヒ> ,清野智昭,朝日出版社,2023,978-4-255-25460-9

講義コード	U821100115	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 中央-503		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスであり、読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとする。従って、文法練習や発音に関する練習も行う。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1)
第2回	ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等
第3回	「第1課 出会いと自己紹介」(1)
第4回	「第1課 出会いと自己紹介」(2)
第5回	「第2課 Nanaの大学」(1)
第6回	「第2課 Nanaの大学」(2)
第7回	「第3課 私の家族」(1)
第8回	「第3課 私の家族」(2)
第9回	「第4課 ドレスデンへのドライブ」(1)
第10回	「第4課 ドレスデンへのドライブ」(2)
第11回	「第5課 夏のような日々を楽しもう！」(1)
第12回	「第5課 夏のような日々を楽しもう！」(2)
第13回	総括
第14回	「第6課 冬学期の始まり」(1)
第15回	「第6課 冬学期の始まり」(2)
第16回	「第7課 森の散歩－環境問題・エネルギー問題」(1)
第17回	「第7課 森の散歩－環境問題・エネルギー問題」(2)
第18回	「第7課 森の散歩－環境問題・エネルギー問題」(3)、「第8課 ベルリンの魅力」(1)
第19回	「第8課 ベルリンの魅力」(2)
第20回	「第8課 ベルリンの魅力」(3)
第21回	「第9課 クリスマス市にて」(1)
第22回	「第9課 クリスマス市にて」(2)
第23回	「第9課 クリスマス市にて」(3)、「第10課 子育ては誰がする？－子育て支援」(1)
第24回	「第10課 子育ては誰がする？－子育て支援」(2)
第25回	「第10課 子育ては誰がする？－子育て支援」(3)
第26回	総括

授業方法

各課冒頭の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、前に戻って会話文をまとめた文章の音読と訳読を行う(教科書の順番では会話文の直後にまとめの文章が置かれている)。

また、時間の許す限りでドイツの風習などを紹介する写真等も見ると予定。随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他、小テストや平常点も加味して評価するので、普段の学習を怠らないことが重要である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

ドイツに行ってみませんか<Ver.3>,佐藤、Pinnau、中村,郁文堂,初,2014,9784261012569

講義コード	U821100116	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)16		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-107		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。
 実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。
 初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。
 教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。
 会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)A1を到達目標とします。
 「ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる」ことから始め、
 「日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる」ようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	出会いの挨拶と別れの挨拶
第2回	自己紹介、出身国とことば
第3回	アルファベット、電話での会話
第4回	ごきげんよう、家族の紹介
第5回	住んでいる場所、1から20まで数える
第6回	人に関して説明する
第7回	物の名前と量
第8回	買い物での会話
第9回	21から100まで数える、好みを表現する
第10回	場所について尋ねる
第11回	住まいを説明する
第12回	満足と不満の表現、色
第13回	理解度の確認
第14回	100から100万までの数
第15回	住まいの広告
第16回	時間の言い方、曜日の言い方
第17回	日常の行動
第18回	営業時間
第19回	天気、季節
第20回	買い物とレストランでの会話
第21回	同意、反論、否定
第22回	余暇と趣味
第23回	能力
第24回	意図を伝える、意志を伝える
第25回	過去のことを描写する、過去の行動について話す
第26回	理解度の確認

授業方法

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

毎日15分づつ、その週にやったことを復習してください。習った会話が口をついて出てくるようにしましょう。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch), Daniela Niebisch, Hueber, 9783193610829

講義コード	U821100117	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)17		
副題	コミュニケーションで学ぶ基礎ドイツ語		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-204		

授業概要

文法の基礎を学びながら、ペアワークやグループワークで実践的な会話練習を行い、ドイツ語の「聞く」「話す」「読む」「書く」力を総合的に養っていきます。文法としては、現在完了形・過去形までを扱います。ドイツの文化や生活にも親しみがもてるよう、ドイツの年中行事なども随時、紹介していきます。

到達目標

ドイツ語圏で買い物をしたり、公共交通機関で移動したりできるようになる。小さな困りごと(道を尋ねる、薬局で薬を買うなど)はドイツ語で解決できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、基本の挨拶、発音
第2回	自己紹介する(名前、出身地、居住地等)
第3回	調子を尋ねる、数字、国の名前と言語の名前
第4回	大学の専攻や学習している言語について話す
第5回	好きな食べ物について話す
第6回	趣味について話す①
第7回	趣味について話す②
第8回	第1学期前半のまとめ
第9回	家族について話す
第10回	持ち物について話す
第11回	買い物をする
第12回	できること・したいこと・しなければならないことについて話す
第13回	第1学期のまとめ
第14回	夏休みの出来事について話す①
第15回	夏休みの出来事について話す②
第16回	住まいについて話す
第17回	時刻表現
第18回	一日のスケジュールを説明する
第19回	第2学期前半のまとめ
第20回	道を尋ねる、道案内をする
第21回	旅の計画を立てる①
第22回	旅の計画を立てる②
第23回	したいこと・する予定のことについて話す
第24回	過去のことについて話す①
第25回	過去のことについて話す②
第26回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

各学期に2～3回程度、単語テストや小テストを行います。

授業方法

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、その日の授業で扱った内容に関する宿題を出します。宿題には必ず取り組み、理解できていない箇所がないか確認をしてください。(1～2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の期末試験、授業内に行う単語テスト・小テスト、および授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

単語テストおよび小テストは授業中に返却・解説されます。

教科書

新・スツェーネン1,佐藤修子他,三修社,初,2022,978-4-384-12308-1

新・スツェーネン1 ワークブック,佐藤修子他,三修社,初,2017,978-4-384-12294-7

教科書コメント

充実した練習問題を通じ、実践的に「聞く」「話す」「読む」「書く」力が身につくように工夫された教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級から中級学習者向けの辞書です。

講義コード	U821100118	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-104		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法の定着を目指し、会話力を養成する。同時にビデオ上映などを交えて、ドイツおよびドイツ語圏の国々についての理解も深めたい。

到達目標

ドイツ語の基本構造、発音を学び、辞書の助けを借りてドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツという国1 (DVD鑑賞)、独和辞典の紹介、アルファベット
第2回	アルファベット、発音の規則、ドイツという国2 (DVD鑑賞)
第3回	発音練習、あいさつ、人称代名詞
第4回	Lektion1 動詞の現在人称変化
第5回	Lektion1 ドイツ語の語順、自己紹介
第6回	Lektion2 名詞の性・数・格、定冠詞の変化
第7回	Lektion2 名詞の複数形、好きな飲み物を言う
第8回	Lektion3 不定冠詞、否定文
第9回	Lektion3 不規則変化動詞、(するのが)好きなことを言う
第10回	Lektion4 定冠詞類。不定冠詞類
第11回	Lektion4 自分の好きな物を言う
第12回	前期の復習
第13回	前期の総まとめ
第14回	前期の復習(試験返却・解説)、オクトーバーフェスト(DVD鑑賞) Lektion5 人称代名詞
第15回	Lektion5 人称代名詞、再帰代名詞、再帰動詞
第16回	Lektion6 前置詞の格支配、ベルリンの壁(DVD鑑賞)
第17回	Lektion6 3・4格支配の前置詞
第18回	Lektion7 複合動詞
第19回	Lektion7 従属の接続詞
第20回	Lektion8 話法の助動詞、ドイツ再統一(DVD鑑賞)
第21回	Lektion8 未来形・非人称表現
第22回	Lektion9 動詞の三基本形
第23回	Lektion9 現在完了、受動態
第24回	Lektion10 過去形、zu不定詞 ドイツのクリスマス1 (DVD鑑賞)
第25回	後期のまとめ ドイツのクリスマス2
第26回	総まとめ、ドイツのクリスマス3

授業方法

テキストの購読、練習問題を学生諸君にやってもらうとともに、会話のペア練習も随時行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次回授業で学生諸君にやってもらう練習問題や課題を指示するので、指示された範囲はきちんと答えられるように準備していくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	

中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 小テスト、提出課題等は履修人数、進度によって実施の有無・回数が変わってきますが、これらは平常点として評価します。レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。レポート(夏休みの課題)は後期授業中に返却・解説を行います。

教科書

身近なドイツ語ーしゃべりたくなる10のトピック 教育・生活・物語編,木戸紗織,朝日出版社,初,2024,978-4-255-25468-5

講義コード	U821100119	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-103		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、簡単な会話表現やDVD教材を用いた聞き取り、発音の練習をしていきます。また、使用するDVD教材にはドイツの日常風景がテーマごとに収録されており、語学学習と同時にドイツ語圏の文化や社会について関心をもってもらうことも目的としています。少しでも第二外国語学習のモチベーションを高めてもらうために、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思えます。

到達目標

- ・ドイツ語の発音規則を理解し、つづりを見て正しく発音できるようになること
- ・短い会話を聞き取り、スペルを正しく書き取ることができるようになること
- ・2分程度の簡単な自己紹介(名前、出身、趣味など)が、ドイツ語でできるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベット
第2回	ドイツ語発音の基本的な規則
第3回	Lektion 1 Markt (1)
第4回	Lektion 1 Markt (2)
第5回	Lektion 2 Bier und Wein (1)
第6回	Lektion 2 Bier und Wein (2)
第7回	Lektion 3 Drinnen und draußen (1)
第8回	Lektion 3 Drinnen und draußen (2)
第9回	Lektion 4 Sehenswürdigkeiten (1)
第10回	Lektion 4 Sehenswürdigkeiten (2)
第11回	Lektion 5 In der Stadt (1)
第12回	Lektion 5 In der Stadt (2)
第13回	ドイツ語で自己紹介(1)
第14回	ドイツ語で自己紹介(2)
第15回	Lektion 6 Alte Städte (1)
第16回	Lektion 6 Alte Städte (2)
第17回	Lektion 7 Brot (1)
第18回	Lektion 7 Brot (2)
第19回	Lektion 8 Fußball (1)
第20回	Lektion 8 Fußball (2)
第21回	Lektion 9 Berlin (1)
第22回	Lektion 9 Berlin (2)
第23回	Lektion 10 Kulturvielfalt (1)
第24回	Lektion 10 Kulturvielfalt (2)
第25回	ドイツ語自己紹介(3)
第26回	ドイツ語自己紹介(4)

授業方法

ペアワークやグループワークを中心に、発音に重点を置いた練習を行います。また、映像教材や音声教材などにより、簡単なドイツ語を聞き取れるように練習します。各Lektion終了時に、聞き取りや会話を主とした小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テスト準備(30分)、宿題(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	80 %	全10回実施予定で、その平均点を算出
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	20 %	ドイツ語で自己紹介(発表)

成績評価コメント

- ・ 各課ごとに実施する小テストが主な成績評価対象となりますので、必ず毎回受験するようにしてください。
- ・ 小テストは各課の区切りごとに実施するので、ガイダンスや発音回を除くと、基本的には隔週での実施となります。
- ・ 小テストは授業冒頭の15分間程度で行います。聞き取り問題の都合上、遅刻に対する対応はできませんので、注意してください。
- ・ 最後の課題は「ドイツ語で自分の事について2分間程度話す」こととなります。そのための表現練習を1年間通して授業内で行いますので、授業にきちんと参加さえしていれば簡単にクリアできます。頑張りましょう。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。
小テストは採点后返却します。

教科書

ドイツ・サラダ[DVD付],保阪良子,朝日出版社,2010,9784255253336

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。

講義コード	U821100120	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)20		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 中央-505		

授業概要

日常的に使われるドイツ語を学び、基礎を理解した上で、テキストを読解したり、作文をして発表したり、グループやペアで会話練習をしたりします。

到達目標

ドイツ語圏の文化に触れて理解を深め、異文化に対する関心と視野を広げる。
日常的なシーンで使われる簡単なドイツ語を理解し、コミュニケーションを実践できる。(ヨーロッパ言語共通参照枠A2レベル)

授業内容

実施回	内容
第1回	導入:ドイツとドイツ語圏、身近なドイツ語、挨拶①
第2回	導入:挨拶②、発音とリズム、第1課:自己紹介①
第3回	第1課:自己紹介②、相手の情報を尋ねる疑問文
第4回	第1課:飲み物の注文、飲み物の好み
第5回	小テスト①、第1課:人と知り合う丁寧なやり取り
第6回	第1課:色々な職業、ドイツ語の発音確認、練習問題
第7回	小テスト②、第2課:調子を尋ね合う、親しい間柄での言葉遣い
第8回	第2課:人と知り合うくだけた調子でのやり取り、数
第9回	第2課:身近な人の紹介①
第10回	第2課:身近な人の紹介②
第11回	第2課:練習問題、第3課:名詞の色々
第12回	小テスト③、第3課:部屋の様子を紹介する、持ち物について表現する
第13回	第3課:手紙の書き方、練習問題(小テスト④)
第14回	一学期復習・理解度の確認、第4課:外出先や買い物の表現
第15回	第4課:行き先の表現
第16回	第4課:時刻の表現、練習問題
第17回	小テスト⑤、第5課:助動詞を使った表現①
第18回	第5課:助動詞を使った表現②
第19回	第5課:助動詞を使った表現③、練習問題
第20回	小テスト⑥、第6課:不定詞句から文を作る練習(1週間の予定)①
第21回	第6課:不定詞句から文を作る練習(1週間の予定)②
第22回	第6課:持ち物についての品評、練習問題
第23回	小テスト⑦
第24回	第7課:待ち合わせの表現
第25回	第7課:名詞の複数形、練習問題
第26回	二学期復習・理解度の確認

授業方法

対面による演習を基本とします。状況に応じて、遠隔授業(同時配信。都合により不可能な場合はオンデマンド型)になる可能性があります。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前:指示された課題(30分)

授業後:復習(45分)

毎日:習った表現を口に出す(5～10分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	

学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)	30 %	発表試験

成績評価コメント

筆記試験は、小テストをまとめたもので、繰り返し同じ表現をテストすることでより定着させます。9割以上の得点が望まれます。小テストと授業への参加度、ペア・グループワークの成果発表はまとめて授業点として換算します。その他、グループまたは個人による発表の実技試験があります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

Moodle提出の場合はオンラインにて添削、紙媒体の場合は添削して返却、小テストは授業内で解説、その他発表等に関しては個別に対応します。

教科書

ベーシック版 自己表現のためのドイツ語<ノイ>,板山真由美他,三修社,初,2024,978-4-384-12310-4 C1084

参考文献コメント

授業内で指示します。

その他

意欲と好奇心が大切です。楽しみながらドイツ語を積極的に使っていきましょう。
Moodleを使用しますので、Moodleのチャットを利用したり、メールで連絡したりします。

講義コード	U821100121	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1-105		

授業概要

会話形式の練習を通して、ドイツ語の表現を習得を試みます。

到達目標

発話・聞き取り練習によりドイツ語運用能力の基礎を身に付け、簡単な会話ができるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の単語の発音について
第2回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(1)
第3回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(2)
第4回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(3) 自分や他人の紹介をする練習(1)
第5回	自分や他人の紹介をする練習(2)
第6回	自分や他人の紹介をする練習(3) 自分の持ち物について話す練習(1)
第7回	自分の持ち物について話す練習(2)
第8回	自分の持ち物について話す練習(3) 買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(1)
第9回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(2)
第10回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(3) 家族のことを紹介する練習(1)
第11回	家族のことを紹介する練習(2)
第12回	家族のことを紹介する練習(3) 全体の振り返り
第13回	まとめ
第14回	自分の好きなことについて話す練習(1)
第15回	自分の好きなことについて話す練習(2)
第16回	自分の好きなことについて話す練習(3) 衣服や身の回りの品物について話す練習(1)
第17回	衣服や身の回りの品物について話す練習(2)
第18回	衣服や身の回りの品物について話す練習(3) 位置関係を説明する練習(1) 道案内をする練習
第19回	位置関係を説明する練習(2) 時刻の表現練習(1)
第20回	時刻の表現練習(2)
第21回	休暇について話す練習(1)
第22回	休暇について話す練習(2)
第23回	休暇について話す練習(3) 体にかかわること、体調について話す練習(1)
第24回	体にかかわること、体調について話す練習(2)
第25回	体にかかわること、体調について話す練習(3) 全体の振り返り
第26回	まとめ

授業方法

グループワークならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を目を通して、練習内容を確認しておいてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、グループワーク、課題提出がポイントとなります。
進度に応じ、小テストを行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて、返却します。

教科書

クラッセ！ ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付),谷澤優子、白木和美、ガブリエラ・シュミット,白水社,2018,9784560064214

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向きとして以下の辞書があげられます。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

講義コード	U821100122	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)22		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1-103		

授業概要

ドイツ語初学者のための授業です。ドイツ語の会話表現を身につけることを目標とします。基本的な文法もおさえつつ、日常的な表現を覚えていきましょう。

到達目標

ドイツ語の基本的な会話表現を学び、活用できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	Lektion 1 履修者の決定、挨拶、自己紹介、授業の進行についてのガイダンス、ドイツ語の文字や発音についての簡単な説明
第2回	Lektion 1 人称変化
第3回	Lektion 2 専攻、職業、国籍
第4回	Lektion 2 人称変化3人称
第5回	Lektion 3 持ち物、数詞
第6回	Lektion 3 冠詞類
第7回	Lektion 4 食べ物、飲み物
第8回	Lektion 4 冠詞類4格
第9回	Lektion 5 家族
第10回	Lektion 5 所有冠詞、人称代名詞
第11回	Lektion 6 趣味、動詞
第12回	Lektion 6 不規則変化動詞、命令形
第13回	既習事項のまとめ
第14回	Lektion 7 休暇
第15回	Lektion 7 話法の助動詞
第16回	Lektion 8 服装、贈り物
第17回	Lektion 8 3格を使った表現
第18回	Lektion 9 建物、街
第19回	Lektion 9 前置詞を使った表現
第20回	Lektion 10 1日の行動、時刻
第21回	Lektion 10 分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞
第22回	Lektion 11 身体、病気
第23回	Lektion 11 過去形、現在完了形
第24回	Lektion 12 天候
第25回	Lektion 12 従属接続詞、比較級・最上級
第26回	既習事項のまとめ

授業計画コメント

受講者の理解度によって実施回は前後することがあります。社会の状況によってはすべて遠隔授業に切り替える可能性があります。

授業方法

授業ではパートナー練習や音声メディアを使ったヒアリング等を行います。原則として予習は必要ありませんが、その分受講者には集中して授業を受けることが求められます。コミュニケーション能力は語学力だけによるものではありません。積極的に授業に参加しましょう。(教室内での社会的距離は十分にとることになります。)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習として授業内で練習した会話表現を、最低1回は実際に声に出して発音しましょう。また、教科書内の問題を復習の課題として指定することがあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学習した事項が試験で出題されます。
授業内の会話練習に対してあまりにも消極的な態度が見られた場合は平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語 ノイ,新倉真矢子, 亀ヶ谷昌秀, 正木晶子, 中野有希子, 郁文堂, 2015, 9784261012781

参考文献

アクセス独和辞典, 在間進, 三修社, 4, 2021, 978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典, 濱川祥枝, 信岡資生, 新田春夫, 三省堂, 5, 2014, 978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。自学自習のためにも必要です。特に指定はしませんが必ず辞書は持っておきましょう。

講義コード	U821100123	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)23		
副題	German for English Majors		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 中央-502		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけでなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(1)
第3回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(2)
第4回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(3)
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など (1)
第6回	Lektion 2 家族や友達の紹介など (2)
第7回	Lektion 2 家族や友達の紹介など (3)
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物 (1)
第9回	Lektion 3 食べ物と飲み物 (2)
第10回	Lektion 3 食べ物と飲み物 (3)
第11回	Lektion 4 住居に関して (1)
第12回	Lektion 4 住居に関して (2)
第13回	Lektion 4 住居に関して (3)
第14回	第1学期の復習
第15回	Lektion 5 一日の出来事について (1)
第16回	Lektion 5 一日の出来事について (2)
第17回	Lektion 5 一日の出来事について (3)
第18回	Lektion 6 余暇について (1)
第19回	Lektion 6 余暇について (2)
第20回	Lektion 6 余暇について (3)
第21回	Lektion 7 趣味と勉強 (1)
第22回	Lektion 7 趣味と勉強 (2)
第23回	Lektion 7 趣味と勉強 (3)
第24回	Lektion 7 趣味と勉強 (4)
第25回	まとめ
第26回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましよう。

授業方法

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,9783193610829

講義コード	U821101101	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	METZING, Ronald Helmut Er		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 5時限 西1-206		

授業概要

授業の重点は日常的なコミュニケーションを問題なく行うための発音練習、身近な事柄についての口頭でのやりとりです。また授業ではドイツ語のみで行われます。グループワーク、インタビュー等の口頭での活動の他、初級ドイツ語を確実にしさらにステップアップするための他の3つの言語能力(聞く、書く、読む)も訓練します。また、文法の要素も重要不可欠です。学生には授業への積極的な参加が要求されます。また、簡単な宿題を出します。

到達目標

日常的に頻繁に使用される表現や簡単な文章を理解し、使用できる。自己と他者の紹介をすることができる。他者に身の回りのことについて質問することができ、(どこに住んでいるか、どんな人と知り合いか、何を持っているかなど)そのような質問に答えることができる。相手がゆっくりとはっきり話をすれば理解することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	P94～95 第8課 職業
第2回	P96～98 A理学療法士、Bいつ職業教育を受けましたか？
第3回	P99～101 C私はまだ…、Dインターンシップ市場とアルバイト市場、E電話口で。
第4回	P102～108 第9課 旅の途上で A申込書に記入しなければなりません。
第5回	P109～111 B見て！、Cあなたは運転できます、Dインフォメーションパンフレット
第6回	P112～113 E部屋の予約。
第7回	P118～120 第10課 健康と病気 Aあなたの目が痛い。
第8回	P121～123 B私たちの目はとても青い、C鎮痛剤を飲むように言われています、D問い合わせ
第9回	P124～125 D4 Eメールを読んでください、E会う約束
第10回	P130～132 第11課 町中で A次を左に曲がってください。
第11回	P133～137 B私たちは車でいきます、C橋の手前を左です、D私たちはヴァルタのところへ行きます、E駅で。
第12回	ふりかえり 理解度の確認
第13回	フィードバック
第14回	P142～144 第12課 顧客サービス、A講習のすぐ後に。
第15回	P145～147 B一ヶ月後に入ります、Cそれを少し見せていただけますか？、D電話での情報
第16回	P148～149 E日常のサービス
第17回	P154～156 第13課 新しい服、Aララ、あそこのジャケットを見て！ すごく素敵じゃない。
第18回	P157～159 Bそのジャケットはあなたにピッタリだわ、Cで、これはこっちの方がいい。
第19回	P160～161 Dどれ？これ、Eデパートで
第20回	P166～168 第14課 パーティー A1月15日に…。
第21回	P169 Bおじいちゃん、大好き！
第22回	P170 C送別会をします。
第23回	P171 D招待。
第24回	P172～173 お祝いとお祝いの言葉
第25回	ふりかえり 理解度の確認
第26回	フィードバック

授業方法

演習…ペアワークによる会話練習

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

予習…単語を調べる、復習…テキストを読み内容を理解する(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の積極的な参加を重視。テストはテキストの範囲内で出題。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは返却し、最終授業で解説を行う。

教科書

Schritte International neu 2,D. Niebisch,9783196610826

講義コード	U821101102	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-107		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらにドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができることを目標とします。

授業内容

実施回 内容

- 第1回 仕事について話す
- 第2回 過去と現在についての情報交換、過去の行動についての報告
- 第3回 広告を読む
- 第4回 指示をする
- 第5回 アドヴァイスをする
- 第6回 許可されていることと禁止されていることについて話す
- 第7回 情報誌を理解する、ホテルの受付での会話
- 第8回 体の部分、外見を描写する
- 第9回 手紙を書く
- 第10回 会う約束をする
- 第11回 道を尋ねる
- 第12回 場所を指示する
- 第13回 理解度の確認
- 第14回 場所と方向を規定する
- 第15回 時刻表とアナウンスを理解する、駅で情報を求める
- 第16回 日付を理解する、言う
- 第17回 サービスを頼む、丁寧な依頼
- 第18回 電話のアナウンスを理解する
- 第19回 洋服、満足と不満を言い表す
- 第20回 好みと評価を言い表す
- 第21回 デパートでの会話
- 第22回 日付を尋ねる、言う
- 第23回 人や物について話す
- 第24回 理由を述べる
- 第25回 お祝いを述べる
- 第26回 理解度の確認

授業方法

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

毎日15分づつ、その週にやったことを復習してください。習った会話が口をついて出てくるようにしましょう。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

『Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch』, Daniela Niebisch, Hueber, 9783196610826

講義コード	U821101103	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 南1-306		

授業概要

これまで学んだことをしっかり身につけ、深めます。ドイツ語を聞き取り、話すことを学びます。ドイツの日常的な文化を知り、理解することを学びます。

到達目標

例えば、仕事、外国旅行、体と健康、買い物、ファッション、休暇に関係する中級レベルのドイツ語を聞き取り、話し、読むために必要な技能が身につきます。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	授業の説明、自己紹介、文法の復習（特に動詞、代名詞、冠詞）
第2回	第8課 Beruf und Arbeit 教科書の説明、単語のリスト、sein, heißenの過去形
第3回	復習15分 第8課 前置詞（時間）、練習
第4回	復習15分 第8課 前置詞、Beruf und Arbeitについてのテキスト
第5回	復習15分 第9課 In einer fremden Stadt、単語のリスト、語法の助動詞
第6回	復習15分 第9課ホテルでの会話、Touristeninformation、代名詞 man、練習
第7回	テスト第8-9課、成績評価に大切
第8回	復習15分 第10課 Gesundheit、単語のリスト、所有冠詞、手紙を書く
第9回	復習15分 第10課 医者での期日を決める、体の部分 練習
第10回	復習15分、第11課 In der Stadt unterwegs、単語のリスト、地図を読む、前置詞（場所、方向）、道の案内
第11回	復習15分、第11課、前置詞の練習
第12回	復習15分、教科書のエキストラページを読む
第13回	テスト第10-11課、成績評価に大切
第14回	第12課 Der Kunde ist König、前置詞（時間）、敬語
第15回	復習15分 第12課、分離動詞、買い物の会話
第16回	復習15分 第12課の練習
第17回	復習15分 第13課 Mode、単語のリスト、gefallen、疑問代名詞
第18回	復習15分 第13課 3格の人称代名詞、3格を取る動詞
第19回	復習15分 第13課 練習
第20回	テスト第12-13課、成績評価に大切
第21回	第13課 形容詞の比較級、指示代名詞
第22回	復習15分、第13課練習
第23回	復習15分、第14課Feste、単語のリスト、序数、接続語 denn、動詞 werden
第24回	復習15分、第14課、日付の練習、4格の代名詞
第25回	復習15分、第14課、練習、復習第13、14、15課
第26回	テスト第13-15課、成績評価に大切

授業方法

授業方法(対面授業の場合) / Teaching Method (face-to-face lessons)
教科書を基にして練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

休まずに出席して下さい。毎回教科書を持ってきて下さい。しっかり勉強してテストに臨んで下さい。宿題が出されたときは期限内に提出して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch: Schritte international ,D. Niebisch et.al., Hueber Verlag, newest, 9783196610826

教科書コメント

出来るだけ早く教科書を購入して下さい。

その他

office hour. Please contact me: ribrie26@yahoo.de

講義コード	U821101104	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 中央-506		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらに実践的な日常会話の習得を目指していきます。昨年度の私のC(初級)の授業「ドイツ語を話そう! 1」の既習者でなくとも、ドイツ語の初級知識がある人であれば誰でも大歓迎です。間違えを恐れず、楽しく積極的にドイツ語を話すことで、初級で学んできたことが実際に「使える!」と実感できるようになるはず。実際にドイツを訪れたり、日本でドイツ人と話すときに様々なことを表現できるよう、日常会話の中で役立つ練習を楽しく行います。ドイツの文化にも触れられるよう、授業中にドイツの音楽、映画、歴史について紹介します。またドイツ語でEメールを書く練習などもします。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

この授業を1年受講すると、おおよそ以下のことがドイツ語で出来るようになります。 1)日常生活の場面での簡単な質問や指示、短い会話を理解することができる 2)短い伝達事項や掲示、広告などから、自分にとって重要な情報を取り出すことができる 3)数字や量、時間や値段を言ったり、理解したりすることができる 4)簡単なものであれば、所定の用紙に記入することができる 5)短い個人的な文章を書くことができる 6)会話で自己紹介をしたり、質問に答えたりすることができる 7)身近な状況で質問やお願いをしたり、それらに反応したりすることができる

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 8 職業と仕事 (1)
第3回	Lektion 8 職業と仕事 (2)
第4回	Lektion 8 職業と仕事 (3)
第5回	Lektion 9 知らない街で (1)
第6回	Lektion 9 知らない街で (2)
第7回	Lektion 9 知らない街で (3)
第8回	Lektion 10 健康と体 (1)
第9回	Lektion 10 健康と体 (2)
第10回	Lektion 10 健康と体 (3)
第11回	Lektion 11 道案内 (1)
第12回	Lektion 11 道案内 (2)
第13回	Lektion 11 道案内 (3)
第14回	第1学期の復習
第15回	Lektion 12 お客様は神様 (1)
第16回	Lektion 12 お客様は神様 (2)
第17回	Lektion 12 お客様は神様 (3)
第18回	Lektion 13 新しい洋服 (1)
第19回	Lektion 13 新しい洋服 (2)
第20回	Lektion 13 新しい洋服 (3)
第21回	Lektion 14 パーティー、お祭り (1)
第22回	Lektion 14 パーティー、お祭り (2)
第23回	Lektion 14 パーティー、お祭り (3)
第24回	Lektion 14 パーティー、お祭り (4)
第25回	まとめ
第26回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましよう。

授業方法

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International NEU 2 (Kursbuch + Arbeitsbuch),Daniela Niebisch,hueber,2016,9783196610826

講義コード	U821101105	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-201		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。初級で習得した文法事項を復習しながら、構文・語順・語の用法などを扱う中級文法へとステップアップし、ドイツ語による、より自在な表現力を身につけていきます。同時に、ドイツ語という言語に対する興味・理解を深めていくことをも目指します。

到達目標

中級程度のドイツ語文法事項の習得、ならびに、ドイツ語による表現力・作文能力の向上を目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	はじめに・既習事項のチェック
第2回	接続法第1式
第3回	接続法第2式
第4回	練習問題
第5回	動詞や形容詞と特定の前置詞の組み合わせ、など
第6回	練習問題
第7回	語順の考え方
第8回	練習問題
第9回	否定の仕方
第10回	練習問題
第11回	従属文
第12回	練習問題
第13回	理解度の確認
第14回	関係文
第15回	練習問題
第16回	zu不定詞句の使い方
第17回	練習問題
第18回	冠詞の使い方
第19回	練習問題
第20回	機能動詞構造
第21回	練習問題
第22回	受動態
第23回	練習問題
第24回	形容詞の名詞化
第25回	練習問題
第26回	理解度の確認

授業方法

受講者が課題に対し解答し、それに解説を加える形で進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

教材に説明されている文法事項に目を通し、ドイツ語の例文を読み、作文その他の課題の解答を考えてきて下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	

中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書コメント

教材はプリントを使用します。初級で使った文法の教科書と辞書は必ず毎回持参して下さい。

講義コード	U821101106	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)6		
副題	ドイツ語中級文法・作文		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-201		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。

1年次に学習した初級文法では深く追えなかった一歩進んだ文法・表現を学習します。復習にせよ新たに学ぶにせよ、どんな文法事項も自分自身がドイツ語で表現したり、ドイツ語の文を読んだりするときに実際に使えるかどうか重要です。

到達目標

ドイツ語文法への理解を深め、読解・作文に生かせるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	時制、文
第2回	並列接続詞、man
第3回	語順(1)
第4回	分離動詞(1)・非分離動詞、完了形
第5回	否定
第6回	接続法I、間接話法
第7回	接続法II、非現実話法
第8回	冠詞
第9回	語順(2)
第10回	従属接続詞
第11回	関係文
第12回	前置詞(1)
第13回	前期学習事項の確認
第14回	前置詞(2)
第15回	分離動詞(2)
第16回	分詞、冠飾句
第17回	視点の取り方
第18回	さまざまな前綴り
第19回	3格、再帰動詞
第20回	無生物主語
第21回	意見表明の表現
第22回	話法の助動詞
第23回	心態詞
第24回	副文表現と前置詞＋名詞の書き換え
第25回	論理展開
第26回	後期学習事項の確認

授業計画コメント

以上の授業予定はあくまでも学習項目の目安です。順番や学習時間数は参加者の様子を見て適宜変更します。

授業方法

授業中は文法事項の解説と、課題として指定した練習問題の解説・答え合わせを行います。指名された人が黒板・ホワイトボードに解答を書き、教員に添削されます。辞書は必ず持って来て下さい。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業中、予習・復習になる練習問題を課題として指定するので必ずやってくるください。教科書とは別にプリントも使用します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	0 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では授業中に扱った項目が出題されます。普段の授業への取り組みがそのまま試験に反映されると思います。平常点は、授業中の問題演習への取り組みが評価されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後に模範解答を配布します。疑問点があれば個別に答えます。

教科書

ドイツ語を書いてみよう！[改訂版],清野智昭,白水社,2016,978-4-560-06417-7

教科書コメント

教科書の他にプリントを使用します。

参考文献

独和大辞典コンパクト版,岩崎英二郎、小野寺和夫、国松孝二、三城満禧、千石喬ほか,小学館,第2版,1999,978-4-095-15032-7

[改訂版]詳解ドイツ語文法,在間進,大修館書店,2006,978-4-469-21307-2

参考文献コメント

試験の際は辞書持ち込みを認めますが、スマートフォンやタブレットの辞書アプリは認めません。新たに辞書を買う場合は、一年次よりもレベルの高いものを買ってみましょう。

初級文法に自信のない者は、一年次に使用した文法の教科書を常に開けるようにしておくといよいでしょう。専門の文法解説書には、初級文法教科書には書かれていない知識も載っています。後々のためにもっておくのも手です。

その他

この授業はドイツ語圏文化学科指定クラスですから他学科の学生にとってはやや難易度の高い内容になりますが、一歩踏み込んだドイツ語表現を学びたい学生なら誰でも歓迎します。

講義コード	U821101107	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)7		
副題	正しいドイツ語を書く訓練		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	清野 智昭		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西2-506		

授業概要

この授業では、初級文法を復習しつつ、正しいドイツ語を書く訓練をします。ドイツ語の文を作るためには何が分かっているか、分からないかをやさしく解説していきます。語形変化などの形のみを練習するのではなく、ドイツ語の語感を身につけていきます。

到達目標

表現意図に応じた正しいドイツ語の文を作れるようになるのが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入:第1課 まずは主語と定動詞を決める
第2回	第1課 自己紹介の練習
第3回	第2課 ドイツ語らしい語順
第4回	第2課 趣味を言う練習
第5回	第3課 否定文の作り方、1課2課の小テスト
第6回	第3課 好き嫌いを言う練習
第7回	第4課 冠詞を正しく使おう
第8回	第4課 身体の調子や病気について言う練習
第9回	第5課 情報の流れを考える、3課4課の小テスト
第10回	第5課 子どもの時のことを語る練習
第11回	第6課 空間の位置関係の表し方
第12回	第6課 行き方を説明する練習
第13回	第7課 前置詞を使いこなそう、5課6課の小テスト
第14回	第7課 時間を表現する練習(1)
第15回	第8課 視点の取り方
第16回	第8課 時間を表現する練習(2)
第17回	第9課 人と物の表し方、7課・8課の小テスト
第18回	第9課 意見を述べる練習
第19回	第10課 話法でニュアンスを付け加える
第20回	第10課 予定を言う練習
第21回	第11課 名詞化する、第9課・第10課の小テスト
第22回	第11課 論理的に書く練習
第23回	第12課 ドイツ語らしい論理展開を心がける、論理的に話す練習
第24回	11課・12課の小テスト、参加者発表(1)
第25回	、参加者発表(2)
第26回	、参加者発表(3)、まとめと到達度確認

授業計画コメント

教科書として『ドイツ語を書いてみよう!』(清野智昭著、白水社)を用い、1学期に前半の6課、2学期に後半の6課を扱います。年度末には参加者にドイツ語でのプレゼンテーションを行っていただきます。

授業方法

参加者は、次回の授業で扱う範囲の例文を予め訳し、各自、期限までに提出してもらいます。授業でそれらの文を取り上げ、説明を加えます。また、グループワークも取り入れ、ドイツ語で表現する練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習として、次回の授業で扱う部分の例文を訳し、担当教官に提出します。課題の難易度と本人のドイツ語力によりますが、1時間～2時間の時間が必要になります。復習は、授業で訳し、確認した文を暗記して使えるようにします。1時間程度の時間が必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	60 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)	20 %	ドイツ語によるプレゼンテーション

成績評価コメント

教科書2課分ずつ小テストを実施していき、計6回の合計点を成績評価の60%とします。この小テストでは正確にドイツ語文を作れるかを評価します。期末にドイツ語のプレゼンテーションを課し、特定のテーマについてドイツ語で発表してもらい、これを20%の成績にします。平常点(20%)では、出席はもちろんのこと、毎回の課題をきちんと提出しているか、授業中、積極的に参加しているかを評価の対象とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題については毎回の授業で取り扱う。レポートについてはコメントを付し、LMSを通じ提出者にフィードバックする。

教科書

ドイツ語を書いてみよう！[改訂版],清野智昭,白水社,2016,978-4-560-06417-7

参考文献コメント

参考文献は授業中に指示します。

その他

課題をきちんとこなすことはもちろん、授業中積極的に疑問点を質問し、また、自分でも調べることを要望します。「やる気はあるけど、ドイツ語が今一つよくわからない」という学生を助ける授業にします。学生との連絡はLMSを基本としますが、オフィスアワーに質問に来てくれることも歓迎します。

講義コード	U821102101	科目ナンバリング	002D322
講義名	ドイツ語C(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-212		

授業概要

中級コミュニケーションまでに学んだことを基礎として、さらに総合的なドイツ語運用能力を身につけることを目的とします。聞き取り、発話、語彙を増やすことなど、総合的な練習をします。最初の授業で、参加者の力と興味に応じて、テキストを決定します。Schritte international の4, 6のいずれかにします。教科書が決定して届くまで、最初のうちはコピーを配布します。

到達目標

明瞭な通常のドイツ語であれば、仕事や趣味や生活など日常的な事柄についてのドイツ語の発言や文章が理解できるようにします。例えば、旅行中に出会うさまざまな出来事に対して、必要な対応ができ、また、自分の経験や夢・希望・目標などについて話すことができることを目指します。さらに、自分に身近なテーマがあれば、意見を述べたり、その論拠を説明したりできるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション。参加者と簡単な会話をしながら、教科書を決めます。コピーを配布し、授業を行います。
第2回	教科書 第1項目
第3回	教科書 第2項目
第4回	教科書 第2項目
第5回	教科書 第3項目
第6回	教科書 第3項目
第7回	教科書 第4項目
第8回	教科書 第4項目
第9回	教科書 第5項目
第10回	教科書 第5項目
第11回	教科書 第6項目
第12回	教科書 第6項目
第13回	理解度の確認
第14回	教科書 第7項目
第15回	教科書 第7項目
第16回	教科書 第8項目
第17回	教科書 第8項目
第18回	教科書 第9項目
第19回	教科書 第9項目
第20回	教科書 第10項目
第21回	教科書 第10項目
第22回	教科書 第11項目
第23回	教科書 第11項目
第24回	教科書 第12項目
第25回	教科書 第12項目
第26回	理解度の確認

授業方法

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

毎日15分ずつ、その週にやったことを復習してください。習った会話が口をついて出てくるようにしましょう。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	

学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Hueber

教科書コメント

Schritte international Neu 3 もしくはそれより上級のテキスト

講義コード	U821200101	科目ナンバリング	002D524
講義名	ドイツ語セミナー		
英文科目名	German (Seminar)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	4	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-107		

授業概要

このセミナーでは、学生が司会をしてさまざまなテーマについて討論したり、議論を文章にまとめたりすることが中心になります。12のテーマを取り上げます。例えば「メルヒェンは残酷か?」、「お金は人を幸せにするか?」、「一神教それとも多神教?」、「100年後の日本」などです。
 時事的なテキストを使って聞き取りの練習も行います。
 成績は出席と授業態度の積極性、および学期末の筆記試験によって評価します。
 テキストはこちらで用意します。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)B1程度の会話力の習得を目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	Unterricht Einführung 授業導入 / Kann man im Schlaf eine Sprache lernen? 語学は睡眠学習できる?
第2回	weiter 続き
第3回	Ins Berufsleben nach der Oberschule? 高校卒業後の職業の道へ
第4回	weiter 続き / Hörverstehen 聞き取り
第5回	Sind Märchen grausam? メルヒェンは残酷?
第6回	weiter 続き
第7回	Monotheismus oder Polytheismus? 一神教 または 多神教?
第8回	weiter 続き / Hörverstehen 聞き取り
第9回	Macht Geld glücklich? お金で幸せになれる?
第10回	weiter 続き
第11回	Meine Traumwohnung 夢の住まい
第12回	weiter 続き
第13回	理解度の確認
第14回	Meine Traumreise 夢の旅
第15回	weiter 続き
第16回	Japan in 100 Jahren 100年後の日本
第17回	weiter 続き / Hörverstehen 聞き取り
第18回	Was würdest du tun, wenn du den Jackpot knacken würdest? 宝くじで大当たりしたら何をする?
第19回	weiter 続き
第20回	Mein Buch für die Insel 島に持って行く本
第21回	weiter 続き / Hörverstehen 聞き取り
第22回	Was würdest du machen, wenn du der letzte Mensch auf der Erde wärst? 地上で最後の人になったら、何をやる?
第23回	weiter 続き
第24回	Soll man ein Auslandsstudium machen? 留学はすべき?
第25回	weiter 続き / Hörverstehen 聞き取り
第26回	理解度の確認

授業方法

テキストを配布します。そのテーマについてディスカッションを行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

ディスカッションができるように準備してきてください。具体的な予習、復習については授業時に指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。